

## 別記様式第2号(その1の1)

## 基本計画書

基本計画								
事項	記入欄						備考	
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更							
フリガナ者	ガッコウホウジン トウキョウコクサイダイガク 学校法人 東京国際大学							
フリガナ大学の名称	トウキョウコクサイダイガク 東京国際大学 (Tokyo International University)							
大学本部の位置	埼玉県川越市の場北1丁目13番地1							
大学の目的	東京国際大学は、教育基本法及び学校教育法に則り、建学の精神「公德心を体した真の国際人の養成」を基調として、広い教養及び社会に密接な専門学術を教授・研究し、人類の福祉と文化の発展に貢献し得る知性と勇気と先見性豊かな人材を育成することを目的及び使命としている。							
新設学部等の目的	商学部経営学科では、現代の多様な国内・国際ビジネスの仕組みを理解し、ビジネス上の諸課題に実践的に対応できる人材の育成、人間社会学部福祉心理学科では、現代社会の諸問題を福祉・心理の両面から捉え専門性と総合的技術を備えた人材の育成を目的としている。また、近年、当該2学科の志願者数は安定した伸びを示していることから、これらの本学の教育目標に共感する学生のニーズに対応するため、入学定員を増加する。なお、福祉心理学科においては、2022年度より社会的需要の高い公認心理師資格に対応した教育課程を導入することで更なるニーズにも対応してゆく。							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地
		年	人	年次人	人		年 月 第 年次	
	商学部 商学科	4	100	—	400	学士(商学) (Bachelor of Arts in Business and Commerce)	昭和40年4月 第1年次	埼玉県川越市の場北1丁目13番地1
	経営学科	4	160 (80)	—	640 (320)	学士(経営学) (Bachelor of Arts in Business Administration)	令和4年4月 第1年次	同上
	経済学部 経済学科	4	475	—	1,900	学士(経済学) (Bachelor of Arts in Economics)	平成元年4月 第1年次	埼玉県川越市の場北1丁目13番地1
	言語コミュニケーション学部 英語コミュニケーション学科	4	250	—	1,000	学士(デジタルビジネス・イノベーション) (Bachelor of Science in Digital Business and Innovation)	平成16年4月 第1年次	埼玉県川越市の場北1丁目13番地1
	国際関係学部 国際関係学科	4	310	—	1,240	学士(国際関係学) (Bachelor of Arts in International Relations)	平成7年4月 第1年次	埼玉県川越市の場北1丁目13番地1
	国際メディア学科	4	60	—	240	学士(国際メディア学) (Bachelor of Arts in Media and Communication Studies)	平成19年4月 第1年次	同上
人間社会学部 福祉心理学科	4	45 (25)	—	180 (100)	学士(福祉心理学) (Bachelor of Arts in Social Welfare and Psychology)	令和4年4月 第1年次	埼玉県川越市の場2509	

新設学部等の概要	人間スポーツ学科	4	230	—	920	学士(人間スポーツ学) (Bachelor of Arts in Human Development and Sport Science)	平成23年4月 第1年次	埼玉県川越市の場 2509		
	スポーツ科学科	4	200	—	800	学士(スポーツ科学) (Bachelor of Arts in Sport Science)	平成24年4月 第1年次	埼玉県川越市の場 2509		
	医療健康学部 理学療法学科	4	80	—	320	学士(理学療法学) (Bachelor of Physical Therapy)	令和3年4月 第1年次	埼玉県川越市の場北 1丁目13番地1		
			1,910 (1,810)		7,640 (7,240)					
同一設置者内における変更状況 (定員の移行, 名称の変更等)		該当なし								
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数				
		講義	演習	実験・実習	計	— 単位				
	—	— 科目	— 科目	— 科目	— 科目	— 単位				
教 員 組 織 の 概 要	学部等の名称		専任教員等					兼任 教員等		
	新 設 分	商学部 商学科	8 (8)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	19 (19)	
		商学部 経営学科	11 (11)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	19 (19)	
		経済学部 経済学科	21 (21)	15 (11)	5 (2)	0 (0)	41 (34)	0 (0)	7 (7)	
		言語コミュニケーション学部 英語コミュニケーション学科	9 (11)	5 (3)	7 (7)	0 (0)	21 (21)	0 (0)	5 (5)	
		国際関係学部 国際関係学科	9 (9)	9 (6)	7 (6)	0 (0)	25 (21)	0 (0)	16 (16)	
		国際関係学部 国際メディア学科	6 (5)	2 (3)	0 (0)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	16 (16)	
		人間社会学部 福祉心理学科	5 (5)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	23 (23)	
		人間社会学部 人間スポーツ学科	11 (7)	5 (4)	2 (2)	0 (0)	18 (13)	0 (0)	23 (23)	
		人間社会学部 スポーツ科学科	9 (7)	2 (2)	5 (5)	0 (0)	16 (14)	0 (0)	23 (23)	
		医療健康学部 理学療法学科	7 (7)	8 (8)	6 (6)	0 (0)	21 (21)	0 (0)	6 (0)	
		計	96 (91)	51 (42)	34 (30)	0 (0)	181 (163)	0 (0)	— (—)	
		既 設 分	GTI(Global Teaching Institute)	0 (0)	0 (0)	42 (42)	0 (0)	42 (42)	0 (0)	0 (0)
			JLI (Japanese Language Institute)	0 (0)	0 (0)	17 (17)	0 (0)	17 (17)	0 (0)	3 (3)
言語教育機構	1 (1)		1 (1)	1 (1)	1 (1)	4 (4)	0 (0)	0 (0)		
教育研究推進機構	2 (2)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	29 (29)		
計	3 (3)		1 (1)	60 (60)	1 (1)	65 (65)	0 (0)	— (—)		
合 計		99 (94)	52 (43)	94 (90)	1 (1)	246 (228)	0 (0)	— (—)		

教員以外の職員の概要	職 種		専 任	兼 任	計					
	事 務 職 員		141 (141)	20 (20)	161 (161)					
	技 術 職 員		—	—	—					
	図 書 館 専 門 職 員		1 (1)	—	1 (1)					
	そ の 他 の 職 員		7 (7)	48 (48)	55 (55)					
	計		149 (149)	68 (68)	217 (217)					
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	・校舎敷地は下段が現有面積、上段が池袋キャンパス（令和5年9月完成予定）を含む。 ・運動場用地は坂戸キャンパス、河川敷校地を含む。				
	校 舎 敷 地	87,288㎡ (77,288㎡)	0㎡	0㎡	87,288㎡ (77,288㎡)					
	運 動 場 用 地	201,978㎡	0㎡	0㎡	201,978㎡					
	小 計	289,266㎡ (279,266㎡)	0㎡	0㎡	289,266㎡ (279,266㎡)					
	そ の 他	2,675㎡	0㎡	0㎡	2,675㎡					
	合 計	291,941㎡ (281,941㎡)	0㎡	0㎡	291,941㎡ (281,941㎡)					
校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	下段が現有面積、上段が池袋キャンパス（令和5年9月完成予定）を含む。				
		87,966㎡ (61,195㎡)			87,966㎡ (61,195㎡)					
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	・大学全体 ・下段が現有数、上段が池袋キャンパス（令和5年9月完成予定）を含む。				
	192室 (124室)	14室 (14室)	7室 (7室)	24室 (21室) (補助職員0人)	12室 (12室) (補助職員0人)					
専 任 教 員 研 究 室		新設学部等の名称		室 数		GTI、JLIは共同研究室（86席）を使用。				
		大学全体		224 室						
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点			
	大学全体	693,218 [115,698] (684,495 [114,351])	15,856 [14,283] (15,856 [14,283])	12,311 [12,311] (12,311 [12,311])	15,762 (15,722)	355 (355)	— (—)			
	計	693,218 [115,698] (684,495 [114,351])	15,856 [14,283] (15,856 [14,283])	12,311 [12,311] (12,311 [12,311])	15,762 (15,722)	355 (355)	— (—)			
図 書 館		面積		閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数		大学全体			
		10,274㎡		648	699,000					
体 育 館		面積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
		4,473㎡		野球場2面		テニスコート8面				
				サッカー場3面		ゴルフ練習場2面				
				フットサル場3面		アーチェリー場1面				
				陸上競技場400Mトラック1面		ソフトボール場2面				
経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	・大学全体 ・図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費（運用コスト含む）を含む。
		教員1人当り研究費等		400千円	400千円	400千円	400千円	—	—	
		共同研究費等		3,000千円	3,000千円	3,000千円	3,000千円	—	—	
		図書購入費	78,100千円	62,538千円	62,538千円	62,538千円	62,538千円	—	—	
		設備購入費	40,000千円	40,000千円	40,000千円	40,000千円	40,000千円	—	—	

経費の見積り及び維持方法の概要	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,400千円	1,150千円	1,150千円	1,150千円	— 千円	— 千円	商学部・経済学部・国際関係学部・人間社会学部福祉心理学科
		1,450千円	1,200千円	1,200千円	1,200千円	— 千円	— 千円	言語コミュニケーション学部
		1,560千円	1,310千円	1,310千円	1,310千円	— 千円	— 千円	人間社会学部人間スポーツ学科およびスポーツ科学科
		1,450千円	1,400千円	1,400千円	1,400千円	— 千円	— 千円	経済学部・国際関係学部Eトラック
		1,800千円	1,550千円	1,550千円	1,550千円	— 千円	— 千円	医療健康学部
		1,090千円	840千円	840千円	— 千円	— 千円	— 千円	商学研究科・経済学研究科・国際関係学研究科
		1,450千円	1,400千円	1,400千円	— 千円	— 千円	— 千円	商学研究科・経済学研究科・国際関係学研究科Eトラック
1,130千円	880千円	880千円	— 千円	— 千円	— 千円	臨床心理学研究科		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、雑収入						
大学の名称		東京国際大学 (Tokyo International University)						
学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
	年	人	年次	人		倍		
<b>商学部</b>								
商学科	4	100	—	420	学士(商学)	0.73	昭和40年度	埼玉県川越市の場北1丁目13番地1
経営学科	4	80	—	340	学士(経営学)	1.26	平成25年度	
<b>経済学部</b>								
経済学科	4	475	—	1,700	学士(経済学) 学士(デジタルビジネス・イノベーション)	0.96	平成元年	埼玉県川越市の場北1丁目13番地1
<b>言語コミュニケーション学部</b>								
英語コミュニケーション学科	4	250	—	960	学士(言語コミュニケーション学)	0.94	平成16年度	埼玉県川越市の場北1丁目13番地1
<b>国際関係学部</b>								
国際関係学科	4	310	—	1,020	学士(国際関係学)	0.87	平成7年度	埼玉県川越市の場北1丁目13番地1
国際メディア学科	4	60	—	260	学士(国際メディア学)	1.10	平成19年度	
<b>人間社会学部</b>								
福祉心理学科	4	25	—	125	学士(福祉心理学)	1.08	平成7年度	埼玉県川越市の場2509
人間スポーツ学科	4	230	—	920	学士(人間スポーツ学)	1.01	平成23年度	埼玉県川越市の場2509
スポーツ科学科	4	200	—	800	学士(スポーツ科学)	1.09	平成24年度	埼玉県川越市の場2509
<b>医療健康学部</b>								
理学療法学科	4	80	—	320	学士(理学療法学)	0.83	令和4年度	埼玉県川越市の場北1丁目13番地1
<b>大学院商学研究科</b>								
商学専攻(博士前期課程)	2	30	—	60	修士(商学) 修士(デジタル経営革新)	0.26	昭和61年度	埼玉県川越市の場北1丁目13番地1
商学専攻(博士後期課程)	3	3	—	9	博士(商学) 博士(デジタル経営革新)	0.33	昭和63年度	
<b>大学院経済学研究科</b>								
経済学専攻(博士前期課程)	2	20	—	40	修士(経済学)	0.10	平成6年度	埼玉県川越市の場北1丁目13番地1
経済学専攻(博士後期課程)	3	3	—	9	博士(経済学)	0.00	平成14年度	
<b>大学院国際関係学研究科</b>								
国際関係学研究専攻修士課程	2	20	—	40	修士(国際関係学)	0.25	昭和59年度	埼玉県川越市の場北1丁目13番地1
<b>大学院臨床心理学研究科</b>								
臨床心理学専攻(博士前期課程)	2	25	—	50	修士(心理学)	0.24	平成13年度	埼玉県川越市の場2509
臨床心理学専攻(博士後期課程)	3	2	—	6	博士(心理学)	0.00	平成13年度	埼玉県川越市の場2509
附属施設の概要	該当なし							

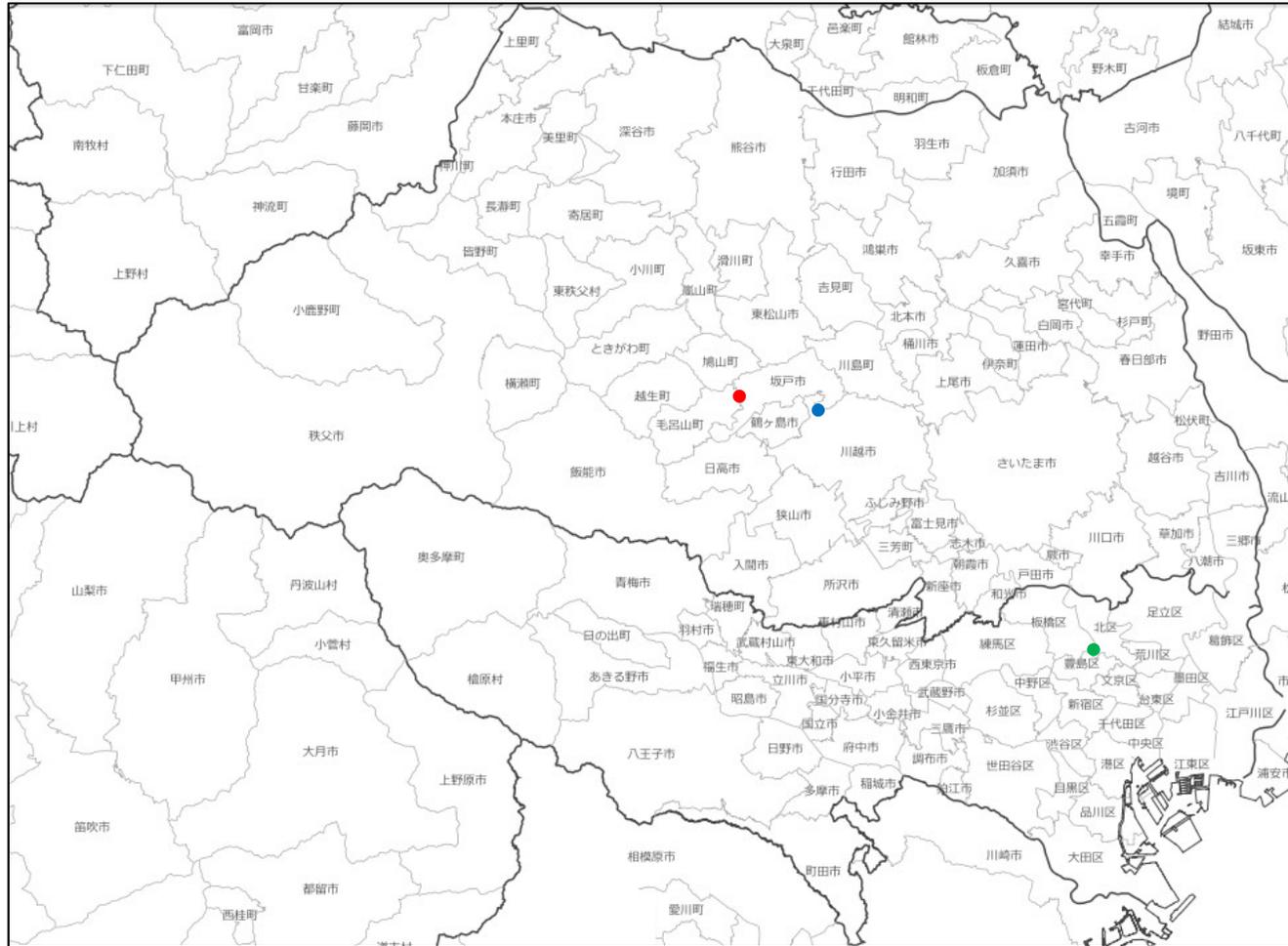
## 学校法人東京国際大学 設置認可等に関わる組織の移行表

令和3年度(2021年度)	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和4年度(2022年度)	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
---------------	----------	-----------	----------	---------------	----------	-----------	----------	-------

東京国際大学			
商学部			
商学科	100	—	400
経営学科	80	—	320
経済学部			
経済学科	475	—	1,900
国際関係学部			
国際関係学科	310	—	1,240
国際メディア学科	60	—	240
人間社会学部			
福祉心理学科	25	—	100
人間スポーツ学科	230	—	920
スポーツ科学科	200	—	800
言語コミュニケーション学部			
英語コミュニケーション学科	250	—	1,000
医療健康学部			
理学療法学科	80	—	320
計	1,810	—	7,240
東京国際大学大学院			
商学研究科			
商学専攻(M)	30	—	60
商学専攻(D)	3	—	9
経済学研究科			
経済学専攻(M)	20	—	40
経済学専攻(D)	3	—	9
国際関係学研究科			
国際関係学専攻(M)	20	—	40
臨床心理学研究科			
臨床心理学専攻(M)	25	—	50
臨床心理学専攻(D)	2	—	6
計	103	—	214

東京国際大学			
商学部			
商学科	100	—	400
経営学科	160	—	640 定員変更(80)
経済学部			
経済学科	475	—	1,900
国際関係学部			
国際関係学科	310	—	1,240
国際メディア学科	60	—	240
人間社会学部			
福祉心理学科	45	—	180 定員変更(20)
人間スポーツ学科	230	—	920
スポーツ科学科	200	—	800
言語コミュニケーション学部			
英語コミュニケーション学科	250	—	1,000
医療健康学部			
理学療法学科	80	—	320
計	1,910	—	7,640
東京国際大学大学院			
商学研究科			
商学専攻(M)	30	—	60
商学専攻(D)	3	—	9
経済学研究科			
経済学専攻(M)	20	—	40
経済学専攻(D)	3	—	9
国際関係学研究科			
国際関係学専攻(M)	20	—	40
臨床心理学研究科			
臨床心理学専攻(M)	25	—	50
臨床心理学専攻(D)	2	—	6
計	103	—	214

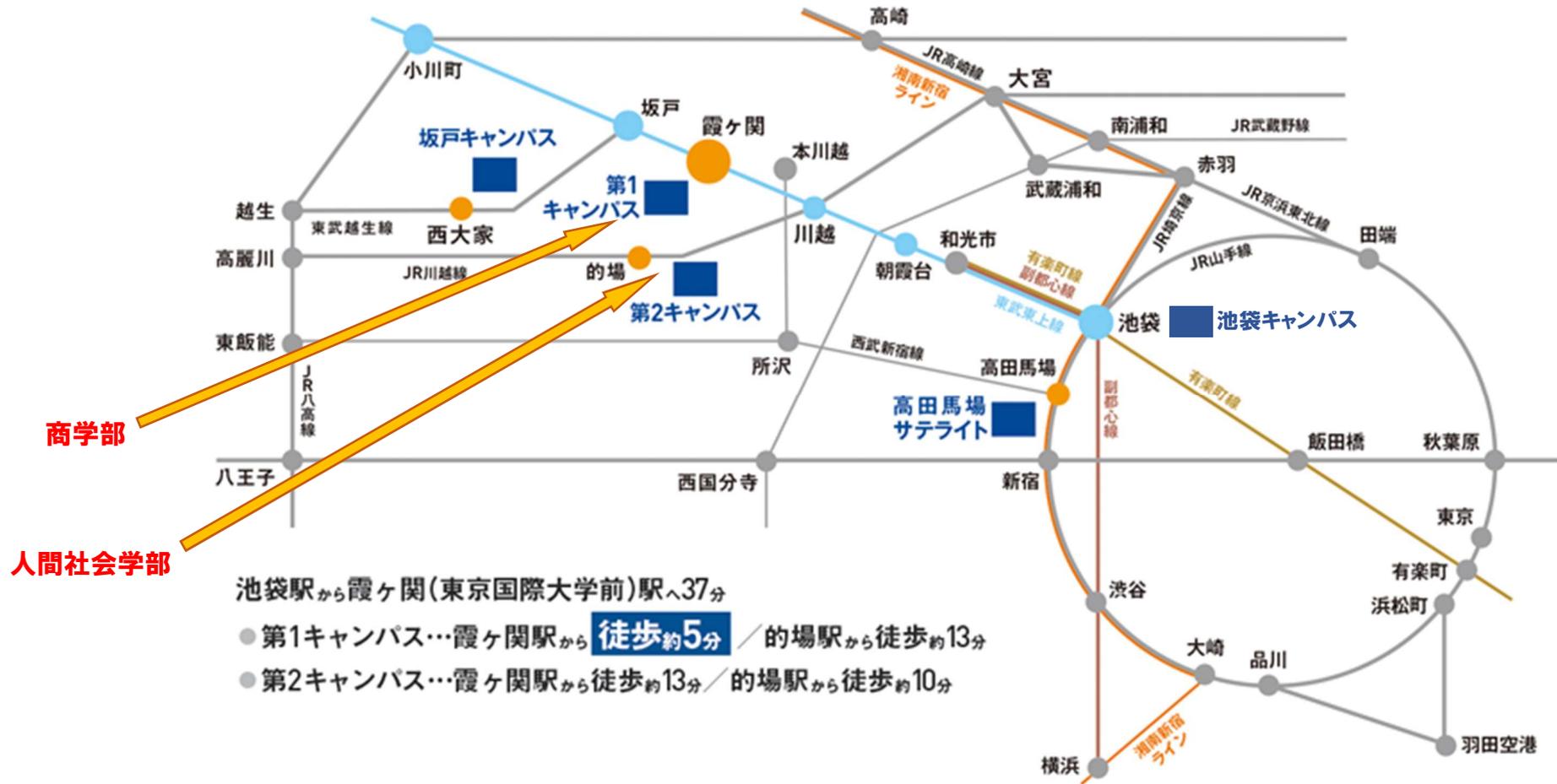
埼玉県内における位置関係のわかる図面



- 坂戸キャンパス(運動施設)
- 池袋キャンパス(2023年9月開校予定)
- 第1キャンパス(商学部・経済学部・言語コミュニケーション学部・国際関係学部・医療健康学部)/第2キャンパス(人間社会学部)

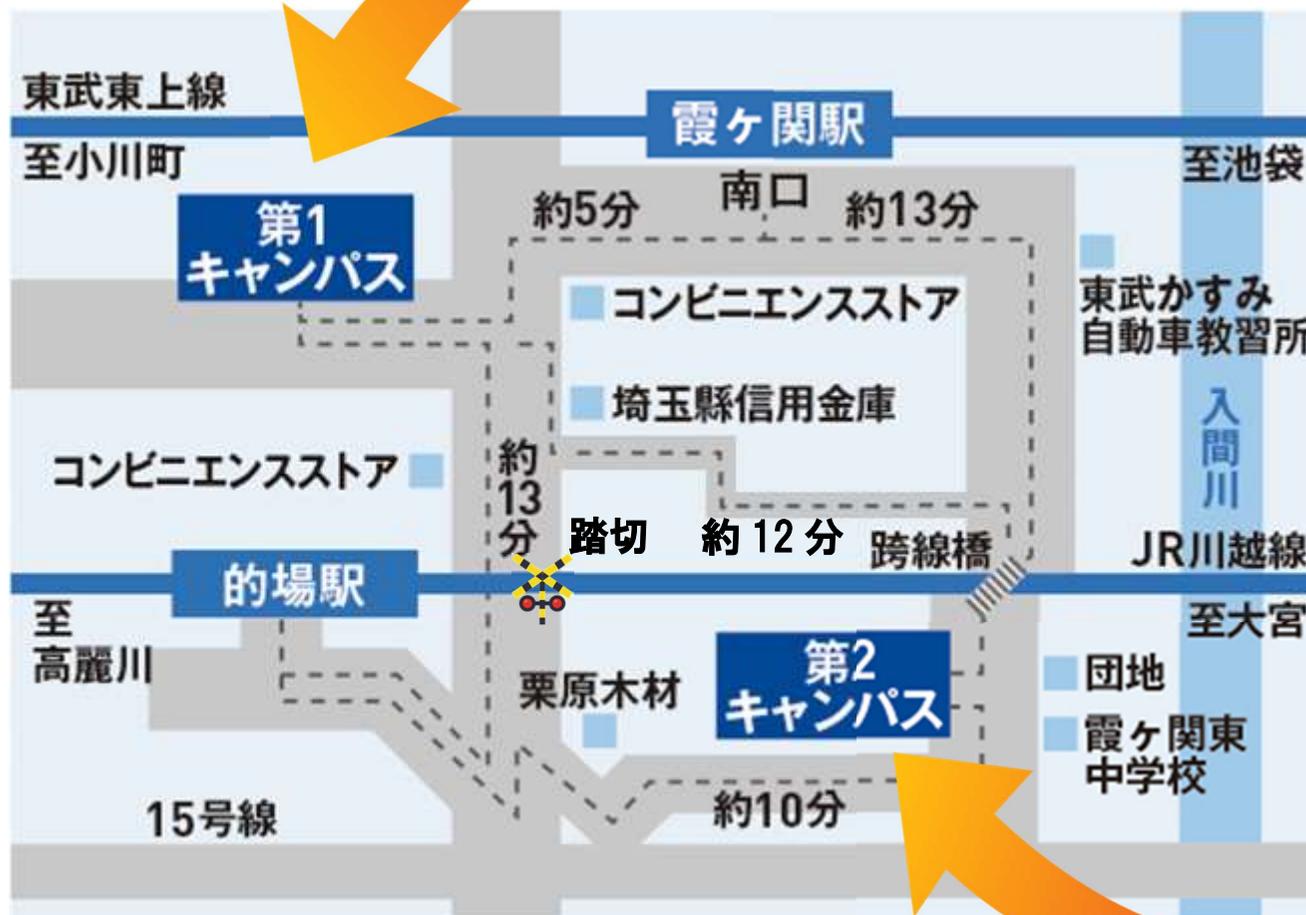
国土地理院 地理院地図(電子国土Web、情報リスト:白地図)

## 最寄駅からの距離、交通機関及び所要時間がわかる図面



最寄駅からの所要時間

商学部



人間社会学部

図面 - 4

# 学校の位置及び校地、校舎の配置図の概要

**池袋国際キャンパス**  
(2023年9月開校予定)  
10,000.05㎡ (全部所有予定)  
所在地: 東京都豊島区東池袋4-3-277-202の一部  
校舎: 2.2階建 約35,000㎡

**川越第1校地**

所在地:  
埼玉県川越市の場北1-13-1 (所有分)  
埼玉県川越市の場北1-13-8 (借用分)

第1キャンパス建物概要:  
(行頭の数字は配置図の建物を表す)

1	校舎	: 鉄骨鉄筋コンクリート造	7階建	7,235 ㎡
2	校舎	: 鉄筋コンクリート造	5階建	5,483 ㎡
3	校舎	: 鉄骨造	3階建	1,579 ㎡
4	校舎	: 鉄骨鉄筋コンクリート造	4階建	3,426 ㎡
5	校舎	: 鉄筋コンクリート造	2階建	1,670 ㎡
6	校舎	: 鉄筋コンクリート造	2階建	3,234 ㎡
7	管理棟	: 鉄骨鉄筋コンクリート造	4階建	2,149 ㎡
8	研究棟	: 鉄骨鉄筋コンクリート造	5階建	2,734 ㎡
9	図書館	: 鉄骨鉄筋コンクリート造	6階建	6,272 ㎡
10	大講堂	: 鉄骨鉄筋コンクリート造	3階建	1,803 ㎡
11	体育館	: 鉄骨鉄筋コンクリート造	3階建	2,876 ㎡
12	食堂1	: 鉄骨造	2階建	1,362 ㎡
13	7号館	: 鉄筋コンクリート造	2階建	638 ㎡
14	食堂3	: 鉄筋コンクリート造平屋建		561 ㎡
15	ゲストハウス	: 鉄骨造	2階建	99 ㎡
16	クラブハウス1	: 鉄骨造	2階建	365 ㎡
17	クラブハウス2	: 鉄骨造	2階建	437 ㎡
18	倉庫	: 鉄骨造平屋建		123 ㎡
19	守衛所	: 鉄筋コンクリート造平屋建		34 ㎡

**坂戸校地**

所在地:  
埼玉県坂戸市大字四日市場字田利75-2

坂戸キャンパス建物概要:  
(行頭の数字は配置図の建物を表す)

1	校舎	: 鉄骨造	平屋建	723 ㎡	
2	校舎	: 鉄骨造	2階建	502 ㎡	
3	守衛所	: 鉄筋コンクリート造平屋建		15 ㎡	
4	バウスタンド棟	: 鉄骨造	2階建	527.03 ㎡	
5	ブルベン	: 鉄骨造	平屋建	289.52 ㎡	
6	トレーニングジム	: 鉄骨造	2階建	126 ㎡	
7	器具庫②	: 鉄骨造	平屋建	59.06 ㎡	
8	競技場選手退避バス	: 鉄骨造	平屋建	10.5 ㎡	
9	本部席	: 鉄骨造	2階建	21.17 ㎡	
10	器具庫①	: 鉄骨造	平屋建	98.66 ㎡	
11	ダックアウト	: 鉄骨造	平屋建	35.62 ㎡	
12	バウスタンド棟	: 鉄骨造	2階建	723.99 ㎡	
13	ブルベン	: 鉄骨造	平屋建	459 ㎡	
14	シャワー室	: 鉄骨造	平屋建	57.90 ㎡	
15	シャワー室	: 鉄骨造	平屋建	83.74 ㎡	
16	シャワー室	: 鉄骨造	平屋建	65.60 ㎡	
17	物置	: 鉄骨造	平屋建	113.07 ㎡	
18	寄宿舎	: 鉄筋コンクリート造3階建		1790.06 ㎡	
19	校舎	: 鉄骨造	平屋建	シャワー室	62.08 ㎡
20	校舎	: 鉄骨造	平屋建	シャワー室	62.08 ㎡
21	校舎	: 鉄骨造	平屋建	シャワー室	62.08 ㎡
22	校舎	: 鉄骨造	2階建	トレーニングセンター	742.32 ㎡

**河川敷校地**

所在地:  
埼玉県川越市大字鯉井字浅間下1878-1 (所有分)  
埼玉県川越市大字鯉井字春日64 (借用分)  
埼玉県川越市大字鯉井字浅間下1873-3 (借用分)

839 ㎡	(全部所有)
24,366 ㎡	(借用)
672 ㎡	(借用)

**高田馬場サテライト**  
(東京国際大学付属日本語学校)

所在地:  
東京都新宿区高田馬場4-2-3-23  
校舎: 鉄筋コンクリート造 5階建 3,301 ㎡

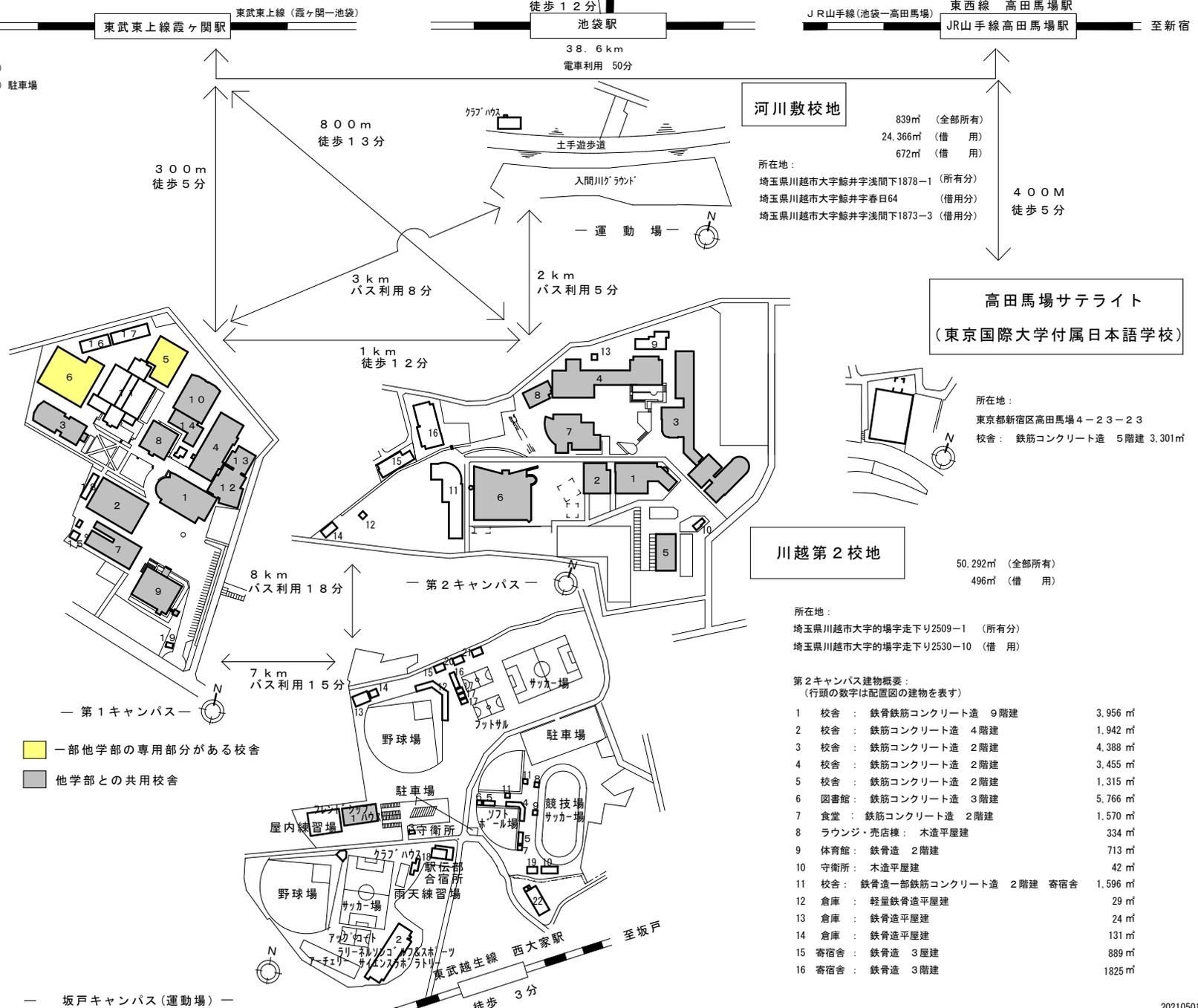
**川越第2校地**

所在地:  
埼玉県川越市大字の場字走下り2509-1 (所有分)  
埼玉県川越市大字の場字走下り2530-10 (借用)

50,292 ㎡	(全部所有)
496 ㎡	(借用)

第2キャンパス建物概要:  
(行頭の数字は配置図の建物を表す)

1	校舎	: 鉄骨鉄筋コンクリート造	9階建	3,956 ㎡	
2	校舎	: 鉄筋コンクリート造	4階建	1,942 ㎡	
3	校舎	: 鉄筋コンクリート造	2階建	4,388 ㎡	
4	校舎	: 鉄筋コンクリート造	2階建	3,455 ㎡	
5	校舎	: 鉄筋コンクリート造	2階建	1,315 ㎡	
6	図書館	: 鉄筋コンクリート造	3階建	5,766 ㎡	
7	食堂	: 鉄筋コンクリート造	2階建	1,570 ㎡	
8	ラウンジ・売店棟	: 木造平屋建		334 ㎡	
9	体育館	: 鉄骨造	2階建	713 ㎡	
10	守衛所	: 木造平屋建		42 ㎡	
11	校舎	: 鉄骨造一部鉄筋コンクリート造	2階建	寄宿舎	1,596 ㎡
12	倉庫	: 軽量鉄骨造平屋建		29 ㎡	
13	倉庫	: 鉄骨造平屋建		24 ㎡	
14	倉庫	: 鉄骨造平屋建		131 ㎡	
15	寄宿舎	: 鉄骨造	3階建	889 ㎡	
16	寄宿舎	: 鉄骨造	3階建	1825 ㎡	



- ① (書類等の題名)  
・建物図面…省略

以上

2以上の校地において教育を行う場合のそれぞれの校地ごとの状況

学部	第一キャンパス					第二キャンパス					坂戸キャンパス					学部及び校地ごとにおける教育内容	備考		
	最大受入定員	収容定員	在学者数	専任教員	校地面積 校舎面積	最大受入定員	収容定員	在学者数	専任教員	校地面積 校舎面積	最大受入定員	収容定員	在学者数	専任教員	校地面積 校舎面積				
商学部 経営学科	640人	640人	375人	12人 (12人)	/					/					/	1年次で履修する必修科目「大学生生活デザイン演習」および「ICT基礎」は第一キャンパスでのみ開講。			
人間社会学部 福祉心理学科	45人	設定なし	0人	0人 (0人)		180人	180人	115人	9人 (9人)										
既設学部等	5,100人	5,100人	4,026人	126人 (115人)		1,720人	1,720人	1,707人	31人 (24人)			1,720人	1,720人	0人				3人 (3人)	
計	5,785人	5,740人	4,401人	138人 (127人)		36,534㎡ 42,152㎡ (42,152㎡)	1,900人	1,900人	1,822人		40人 (33人)	50,788㎡ 25,413㎡ (25,413㎡)	1,720人	1,720人				0人	3人 (3人)

※収容定員欄には、収容定員の設定がされていない場合は、「設定なし」と記載すること。

※専任教員欄、校舎面積欄の( )は開設時、( )外は完成時の数値を記載すること。

※専任教員数について、同一の専任教員が複数の校地で授業を担当する場合には、ダブルカウントし、ダブルカウントする教員の内訳を備考欄に記載すること。

施設・設備等		第一キャンパス	第二キャンパス	坂戸キャンパス	備考
学長室		1室	1室	0室	
会議室		11室	8室	0室	
事務室		18室	4室	1室	
事務職員		129人	15人	5人	
研究室		181室	43室	0室	
教室	講義室	85室	39室	3室	
	演習室	8室	6室	0室	
	実験・実習室	2室	5室	0室	
図書館		4,508㎡ 408,216冊	5,766㎡ 292,135冊	— ㎡ — 冊	
図書館専任職員		1人	0人	0人	
医務室		1室	1室	1室	
学生自習室		5室	2室	0室	
学生控室		9室	3室	3室	
運動場		無	有	有	①第二キャンパス: 埼玉県川越市の場2509 10,034㎡ ②坂戸キャンパス: 埼玉県坂戸市大字四日市場宇田利75-2 169,739㎡ (第一キャンパス、第二キャンパスから専用バス利用で15分)
体育館		有	有	無	

※2以上の校地で教育を行うことを前提とした申請についてのみ本様式の記載を求めるものです。

※研究室が専任教員1人当たり1室でない場合には、備考欄に、研究室の利用形態を記述すること。

※運動場が校地の隣接地にない場合には、その旨を備考欄に記述すること。

# 東京国際大学学則（案）

（昭和40年4月1日制定）

<b>改正</b>	昭和44年 9月22日	昭和45年 4月 1日
	昭和50年 4月 1日	昭和51年 4月 1日
	昭和52年 4月 1日	昭和53年 4月 1日
	昭和54年 4月 1日	昭和56年 4月 1日
	昭和57年 4月 1日	昭和58年 4月 1日
	昭和60年 4月 1日	昭和61年 4月 1日
	昭和62年 4月 1日	昭和63年 4月 1日
	平成元年 4月 1日	平成 2年 4月 1日
	平成 3年 4月 1日	平成 3年 7月 1日
	平成 4年 4月 1日	平成 5年 4月 1日
	平成 6年 4月 1日	平成 7年 4月 1日
	平成 7年10月 1日	平成 8年 4月 1日
	平成 9年 4月 1日	平成10年 4月 1日
	平成11年 4月 1日	平成11年 9月 1日
	平成12年 4月 1日	平成13年 4月 1日
	平成13年 9月 1日	平成14年 4月 1日
	平成15年 4月 1日	平成16年 4月 1日
	平成17年 4月 1日	平成18年 4月 1日
	平成19年 4月 1日	平成20年 4月 1日
	平成21年 4月 1日	平成22年 4月 1日
	平成23年 4月 1日	平成24年 4月 1日
	平成25年 4月 1日	平成25年11月 1日
	平成26年 4月 1日	平成 26年 5月 28日
	平成27年 3月11日	平成 27年 5月 27日
	平成27年10月14日	平成 28年 3月 16日
	平成28年4月28日	平成 28年 5月 26日
	2016年10月13日	2016年 12月 5日
	2017年3月16日	2017年 5月 25日
	2017年7月3日	2017年 10月 23日
	2017年12月7日	2018年 3月 15日
	2018年5月24日	2018年 10月 25日
	2019年1月30日	2019年 3月 14日
	2019年5月30日	2019年 10月 24日
	2019年12月20日	2020年 3月 12日
	2020年5月28日	2020年 10月 22日
	2020年12月17日	2021年 3月 11日

## 第1章 大学の目的及び使命

### 第1条 ～ 第7条（略）

(収容定員)

第8条 本学各学部・学科の収容定員は次のとおりとする。

学 部	学 科	入 学 定 員	収 容 定 員
商 学 部	商 学 科	100名	400名
	経 営 学 科	160名	640名
経 済 学 部	経 済 学 科	475名	1,900名
国 際 関 係 学 部	国 際 関 係 学 科	310名	1,240名
	国 際 メ デ ィ ア 学 科	60名	240名
人 間 社 会 学 部	福 祉 心 理 学 科	45名	180名
	人 間 ス ポ ー ツ 学 科	230名	920名
	ス ポ ー ツ 科 学 科	200名	800名
言 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 部	英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 科	250名	1,000名
医 療 健 康 学 部	理 学 療 法 学 科	80名	320名
計		1,910名	7,640名

第9条 ～ 第55条 (略)

附 則 (本件収容定員の変更に関係しないもの) (略)

2021 年 月 日改正附則 (2021 年 月 日付認可)

1. この改正学則は、2022年4月1日から施行する。
2. 第8条の規定にかかわらず、2022年度から2024年度までの各年度の各学部・学科の収容定員は、次の通りとする。

学 部	学 科	2022 年 度	2023 年 度	2024 年 度
商学部	商学科	400名	400名	400名
	経営学科	400名	480名	560名
経済学部	経済学科	1,820名	1,860名	1,900名
国際関係学部	国際関係学科	1,110名	1,175名	1,240名
	国際メディア学科	240名	240名	240名
人間社会学部	福祉心理学科	120名	140名	160名
	人間スポーツ学科	920名	920名	920名
	スポーツ科学科	800名	800名	800名
言語コミュニケーション学部	英語コミュニケーション 学科	960名	980名	1,000名
医療健康学部	理学療法学科	160名	240名	320名
計		6,930名	7,235名	7,540名

別表1 (第5章第13条) … (略)

別表2 (第7章第21条) … (略)

## 学則の変更事項を記載した書類

商学部経営学科、人間社会学部福祉心理学科の収容定員変更に伴い、学則を次のとおり変更する。

1. 第8条の表中、商学部経営学科、人間社会学部福祉心理学科の入学定員数、収容定員数を変更する。また、これらの変更に伴い「計」欄を変更する。

(事由) 当該学部・学科の収容定員数変更後の入学定員数、収容定員数を明確にするため。

2. 附則に次の事項を加える。

① 施行年月日を明記する。

② 2022年度から2024年度までの年度ごとの収容定員を明記する。

(事由) 施行日を明確にするため。

(事由) 完成前年度までの収容定員の変化を明確にするため。

## 東京国際大学学則 新旧比較対照表

新	旧																																																																																																																																																
<p>○東京国際大学学則</p> <p>第1章 大学の目的及び使命</p> <p>(省略) 第1条～第7条</p> <p>(収容定員)</p> <p>第8条 本学各学部・学科の収容定員は次のとおりとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>学部</th> <th>学科</th> <th>入学定員</th> <th>収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">商学部</td> <td>商学科</td> <td>100名</td> <td>400名</td> </tr> <tr> <td>経営学科</td> <td style="color: red;">160名</td> <td style="color: red;">640名</td> </tr> <tr> <td>経済学部</td> <td>経済学科</td> <td>475名</td> <td>1,900名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">国際関係学部</td> <td>国際関係学科</td> <td>310名</td> <td>1,240名</td> </tr> <tr> <td>国際メディア学科</td> <td>60名</td> <td>240名</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人間社会学部</td> <td>福祉心理学科</td> <td style="color: red;">45名</td> <td style="color: red;">180名</td> </tr> <tr> <td>人間スポーツ学科</td> <td>230名</td> <td>920名</td> </tr> <tr> <td>スポーツ科学科</td> <td>200名</td> <td>800名</td> </tr> <tr> <td>言語コミュニケーション学部</td> <td>英語コミュニケーション学科</td> <td>250名</td> <td>1,000名</td> </tr> <tr> <td>医療健康学部</td> <td>理学療法学科</td> <td>80名</td> <td>320名</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td style="color: red;">1,910名</td> <td style="color: red;">7,640名</td> </tr> </tbody> </table> <p>(以下省略)</p> <p style="text-align: center;">附 則</p> <p style="color: red;">1 この改正学則は、2022年4月1日から施行する。</p> <p style="color: red;">2 第8条の規定にかかわらず、2022年度から2024年度までの各年度の各学部・学科の収容定員は、次のとおりとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>学部</th> <th>学科</th> <th>2022年度</th> <th>2023年度</th> <th>2024年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">商学部</td> <td>商学科</td> <td>400名</td> <td>400名</td> <td>400名</td> </tr> <tr> <td>経営学科</td> <td>400名</td> <td>480名</td> <td>560名</td> </tr> <tr> <td>経済学部</td> <td>経済学科</td> <td>1,820名</td> <td>1,860名</td> <td>1,900名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">国際関係学部</td> <td>国際関係学科</td> <td>1,110名</td> <td>1,175名</td> <td>1,240名</td> </tr> <tr> <td>国際メディア学科</td> <td>240名</td> <td>240名</td> <td>240名</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人間社会学部</td> <td>福祉心理学科</td> <td>120名</td> <td>140名</td> <td>160名</td> </tr> <tr> <td>人間スポーツ学科</td> <td>920名</td> <td>920名</td> <td>920名</td> </tr> <tr> <td>スポーツ科学科</td> <td>800名</td> <td>800名</td> <td>800名</td> </tr> <tr> <td>言語コミュニケーション学部</td> <td>英語コミュニケーション学科</td> <td>960名</td> <td>980名</td> <td>1,000名</td> </tr> <tr> <td>医療健康学部</td> <td>理学療法学科</td> <td>160名</td> <td>240名</td> <td>320名</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td style="color: red;">6,930名</td> <td style="color: red;">7,235名</td> <td style="color: red;">7,540名</td> </tr> </tbody> </table>	学部	学科	入学定員	収容定員	商学部	商学科	100名	400名	経営学科	160名	640名	経済学部	経済学科	475名	1,900名	国際関係学部	国際関係学科	310名	1,240名	国際メディア学科	60名	240名	人間社会学部	福祉心理学科	45名	180名	人間スポーツ学科	230名	920名	スポーツ科学科	200名	800名	言語コミュニケーション学部	英語コミュニケーション学科	250名	1,000名	医療健康学部	理学療法学科	80名	320名	計		1,910名	7,640名	学部	学科	2022年度	2023年度	2024年度	商学部	商学科	400名	400名	400名	経営学科	400名	480名	560名	経済学部	経済学科	1,820名	1,860名	1,900名	国際関係学部	国際関係学科	1,110名	1,175名	1,240名	国際メディア学科	240名	240名	240名	人間社会学部	福祉心理学科	120名	140名	160名	人間スポーツ学科	920名	920名	920名	スポーツ科学科	800名	800名	800名	言語コミュニケーション学部	英語コミュニケーション学科	960名	980名	1,000名	医療健康学部	理学療法学科	160名	240名	320名	計		6,930名	7,235名	7,540名	<p>○東京国際大学学則</p> <p>第1章 大学の目的及び使命</p> <p>(省略) 第1条～第7条</p> <p>(収容定員)</p> <p>第8条 本学各学部・学科の収容定員は次のとおりとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>学部</th> <th>学科</th> <th>入学定員</th> <th>収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">商学部</td> <td>商学科</td> <td>100名</td> <td>400名</td> </tr> <tr> <td>経営学科</td> <td>80名</td> <td>320名</td> </tr> <tr> <td>経済学部</td> <td>経済学科</td> <td>475名</td> <td>1,900名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">国際関係学部</td> <td>国際関係学科</td> <td>310名</td> <td>1,240名</td> </tr> <tr> <td>国際メディア学科</td> <td>60名</td> <td>240名</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人間社会学部</td> <td>福祉心理学科</td> <td>25名</td> <td>100名</td> </tr> <tr> <td>人間スポーツ学科</td> <td>230名</td> <td>920名</td> </tr> <tr> <td>スポーツ科学科</td> <td>200名</td> <td>800名</td> </tr> <tr> <td>言語コミュニケーション学部</td> <td>英語コミュニケーション学科</td> <td>250名</td> <td>1,000名</td> </tr> <tr> <td>医療健康学部</td> <td>理学療法学科</td> <td>80名</td> <td>320名</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>1,810名</td> <td>7,240名</td> </tr> </tbody> </table> <p>(以下省略)</p>	学部	学科	入学定員	収容定員	商学部	商学科	100名	400名	経営学科	80名	320名	経済学部	経済学科	475名	1,900名	国際関係学部	国際関係学科	310名	1,240名	国際メディア学科	60名	240名	人間社会学部	福祉心理学科	25名	100名	人間スポーツ学科	230名	920名	スポーツ科学科	200名	800名	言語コミュニケーション学部	英語コミュニケーション学科	250名	1,000名	医療健康学部	理学療法学科	80名	320名	計		1,810名	7,240名
学部	学科	入学定員	収容定員																																																																																																																																														
商学部	商学科	100名	400名																																																																																																																																														
	経営学科	160名	640名																																																																																																																																														
経済学部	経済学科	475名	1,900名																																																																																																																																														
国際関係学部	国際関係学科	310名	1,240名																																																																																																																																														
	国際メディア学科	60名	240名																																																																																																																																														
人間社会学部	福祉心理学科	45名	180名																																																																																																																																														
	人間スポーツ学科	230名	920名																																																																																																																																														
	スポーツ科学科	200名	800名																																																																																																																																														
言語コミュニケーション学部	英語コミュニケーション学科	250名	1,000名																																																																																																																																														
医療健康学部	理学療法学科	80名	320名																																																																																																																																														
計		1,910名	7,640名																																																																																																																																														
学部	学科	2022年度	2023年度	2024年度																																																																																																																																													
商学部	商学科	400名	400名	400名																																																																																																																																													
	経営学科	400名	480名	560名																																																																																																																																													
経済学部	経済学科	1,820名	1,860名	1,900名																																																																																																																																													
国際関係学部	国際関係学科	1,110名	1,175名	1,240名																																																																																																																																													
	国際メディア学科	240名	240名	240名																																																																																																																																													
人間社会学部	福祉心理学科	120名	140名	160名																																																																																																																																													
	人間スポーツ学科	920名	920名	920名																																																																																																																																													
	スポーツ科学科	800名	800名	800名																																																																																																																																													
言語コミュニケーション学部	英語コミュニケーション学科	960名	980名	1,000名																																																																																																																																													
医療健康学部	理学療法学科	160名	240名	320名																																																																																																																																													
計		6,930名	7,235名	7,540名																																																																																																																																													
学部	学科	入学定員	収容定員																																																																																																																																														
商学部	商学科	100名	400名																																																																																																																																														
	経営学科	80名	320名																																																																																																																																														
経済学部	経済学科	475名	1,900名																																																																																																																																														
国際関係学部	国際関係学科	310名	1,240名																																																																																																																																														
	国際メディア学科	60名	240名																																																																																																																																														
人間社会学部	福祉心理学科	25名	100名																																																																																																																																														
	人間スポーツ学科	230名	920名																																																																																																																																														
	スポーツ科学科	200名	800名																																																																																																																																														
言語コミュニケーション学部	英語コミュニケーション学科	250名	1,000名																																																																																																																																														
医療健康学部	理学療法学科	80名	320名																																																																																																																																														
計		1,810名	7,240名																																																																																																																																														

# 学則の変更の趣旨等を記載した書類

(収容定員変更に係る学則変更)

東京国際大学



## 目次

1. 学則変更（収容定員変更）の内容.....	3
2. 学則変更（収容定員変更）の必要性.....	3
3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容.....	5
3.1. 教育課程の変更内容.....	5
3.1.1. 商学部 経営学科.....	5
3.1.2. 人間社会学部 福祉心理学科.....	6
3.2. 教育方法及び履修指導方法の変更内容.....	7
3.2.1. 全学的取組.....	7
3.2.2. 商学部 経営学科.....	8
3.2.3. 人間社会学部 福祉心理学科.....	9
3.3. 教員組織の変更内容.....	10
3.4. 大学全体の施設・設備の変更内容.....	11
4. 2以上の校地において教育研究を行う場合の具体的計画.....	12

## 1. 学則変更（収容定員変更）の内容

令和4年度から、東京国際大学学則第8条に定める、商学部経営学科、人間社会学部福祉心理学科の入学定員及び収容定員を以下のように変更する（表1）。商学部経営学科は入学定員を80名拡大することで、現在の80名から160名へと増員する。人間社会学部福祉心理学科については、入学定員を現在の25名から45名へと増員する。

表1. 令和4年度 収容定員変更の概要

学部	学科	現行		変更後		差	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
商学部	経営学科	80人	320人	160人	640人	+80人	+320人
人間社会学部	福祉心理学科	25人	100人	45人	180人	+20人	+80人
合計		105人	420人	205人	820人	+100人	+400人

## 2. 学則変更（収容定員変更）の必要性

今般の収容定員変更は、本学に対する受験生のニーズに応えることを目的としている。

東京国際大学は1965年、「国際商科大学」として創設され、商学部商学科を擁する4年制単科大学として発足した。その後、社会からのニーズに合わせて様々な学部学科を設置し、現在は6学部10学科を擁する総合大学として発展している。建学の精神として「公德心を体した真の国際人の養成」を掲げ、建学時からの教育目標である「Vision, Courage, Intelligence を身に付けた人材づくり」を具現化するために、「スポーツの東京国際大学」「英語力の東京国際大学」を柱とした教育事業展開を強力に推進している。

「英語力の東京国際大学」で表象される教育事業の国際化に関しては、建学以来の姉妹校である米国オレゴン州のウィラメット大学と本学アメリカ校 Tokyo International University of America (TIUA) が共同運営する留学プログラムや、ネイティブ・スピーカー英語教員による英語教育等、グローバル環境を直に体感できる環境を整えている。また、経済学部経済学科及び国際関係学部国際関係学科においては、平成26年度に英語で学位取得可能なイングリッシュ・トラック・プログラムを開講、世界各国から外国人留学生、外国人教員・研究者が多数参集している。これらの取組が評価され、タイムズ・ハイヤー・エデュケーション「THE 世界大学ランキング 日本版」における「国際性」分野で、2021（令和3）年度全国第13位、首都圏第4位と高い評価を得た。

国際的な教育に関する本学の特長は受験生からも高い評価を得ており、令和

元年度にはイングリッシュ・トラック・プログラムを擁する経済学部経済学科、国際関係学部国際関係学科の入学定員を、他学部他学科の入学定員から振り分けることで増員し、志願者の増加に対応していた（表2）。

**表2. 令和元(平成31)年度の定員変更概要**

学部	学科	入学定員		
		平成30	令和元(平成31)	増減
商学部	商学科	120人	100人	-20人
	経営学科	100人	80人	-20人
経済学部	経済学科	355人	435人	+80人
言語コミュニケーション学部	英語コミュニケーション学科	250人	230人	-20人
国際関係学部	国際関係学科	220人	245人	+25人
	国際メディア学科	80人	60人	-20人
人間社会学部	福祉心理学科	50人	25人	-25人
	人間スポーツ学科	230人	230人	0人
	スポーツ科学科	200人	200人	0人
総合計		1,605人	1,605人	0人

しかし近年、商学部経営学科や人間社会学部福祉心理学科についても志願者数は増加傾向にある（表3）。

**表3. 各学科の志願動向**

<商学部 経営学科>

入学年度		平成29	平成30	令和元(平成31)	令和2	令和3
①	入学定員	100	100	80	80	80
②	志願者数	334	395	536	1,094	672
③	志願倍率 (②/①)	3.34	3.95	6.70	13.68	8.40

<人間社会学部 福祉心理学科>

入学年度		平成29	平成30	令和元(平成31)	令和2	令和3
①	入学定員	50	50	25	25	25
②	志願者数	84	106	150	232	161
③	志願倍率 (②/①)	1.68	2.12	6.00	9.28	6.44

令和3年度については、新型コロナウイルスによる影響から前年に比べて落ち込みはしたが、平成29年度に比べ志願者数は大きく増加しており、各学科とも志願倍率は6倍を超える。本学の教育内容に共感する受験生のニーズに対応するため、あらためて当該学科の収容定員増を計画している。

### 3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

#### 3.1. 教育課程の変更内容

今回の収容定員変更にあたっては、社会から評価されている教育の質を維持し、現代社会で求められている人材養成に引き続き努めていく。

本学の卒業生について、日経 HR「価値ある大学 2020 年版 就職力ランキング」では、卒業生に対するイメージとして、「対人力（コミュニケーション能力が高い、ストレス耐性が高い、柔軟性・適応力がある）」は第 14 位、「独創性（創造力がある、個性がある、着眼点が良い）」は第 14 位に位置している。

また、卒業生の就職率についても高い水準で推移している（表 4）。

表 4. 各学科の就職状況

	平成30年度卒			令和元(平成31)年度卒			令和2年度卒		
	就職希望者数	就職者数	就職率	就職希望者数	就職者数	就職率	就職希望者数	就職者数	就職率
商学部 経営学科	110	108	98.2	102	99	97.1	95	91	95.8
人間社会学部 福祉心理学科	60	60	100.0	42	40	95.2	22	22	100.0

このように本学が養成する人材は社会から高い評価を得ている。商学部経営学科と人間社会学部福祉心理学科のいずれについても、増員した学生数に見合った教育体制を構築し、教育の質を維持していく。また、本学は社会環境や受験生ニーズの変化に応じて常に教育内容の改良に努めており、今回の学則変更では特に人間社会学部福祉心理学科において教育課程の見直しを図る。

各学科の変更点の概要、人材養成・教育研究上の目的、及び教育課程の特色は以下のとおりである（資料 1）。

##### 3.1.1. 商学部 経営学科

商学部は、多様な国内・国際ビジネスの仕組みを理解し、ビジネス上の諸課題に実践的に対応できる能力を備えた人材を養成する。

特に経営学科では、経営に関する専門知識と実践力を持ち、それらを実社会で応用できる人材を養成する。現在の教育課程には、「経営」、「会計・ファイナンス」、「情報」の 3 つの専門分野を設けている。

##### ・経営

経営資源を有効利用し、組織を活性化させる経営戦略、経営管理、人的資源管理などマネジメント全般を学習。次代を担うビジネスリーダーや経営者を養成する。

### ・会計・ファイナンス

簿記や会計など、公認会計士・税理士の資格取得に必須の知識やスキルを修得。金融や財務に関する知識も身につけ、企業で活躍する会計・ファイナンスのスペシャリストを養成する。

### ・情報

経営学の知識を基軸に、情報処理やプログラミング技術といった実践的な IT 知識やスキルを修得し、現代の企業経営において重要な役割を担う情報戦略に精通するスペシャリストとして、情報とマネジメントの両面に強い人材を養成する。

学生は入学後、まず経営学の基礎を幅広く学び、土台となる基礎力を身につけた上で、実社会で求められる独自の専門性を磨いていく。地域と連携した講義や実践的な学修・活動を通じて、社会とつながる学修を進め、現代社会のビジネスに関する広範な知識と実践的な専門性をもった人材を目指す。

## 3.1.2. 人間社会学部 福祉心理学科

人間社会学部は、社会、文化、福祉、心理、スポーツのそれぞれの視点から人間と社会のかかわりを探究し、ひとの幸せのために、優しさと勇気を持って社会に貢献できる教養ある人材を養成する。

特に福祉心理学科では、現代社会の諸問題を福祉の視点、心理の視点から捉え、専門性と総合的技術を備えた人材を養成する。現在の教育課程には、「福祉」、「心理」の2つの専門分野を設けている。

### ・福祉

福祉や医療に関する施策や、有効なサービスを提供する支援システムについての知識を学習。すべての子どもや高齢者が生き生きと健康的な生活を送るための支援方法について、理論と実践力の両面を身につけた人材を養成する。

### ・心理

人間の心と身体の発達、各年代特有の心の悩みや問題、その解決と支援方法、集団や組織におけるリーダーシップやコミュニケーションなどについて、心理学を幅広い観点から学習。公認心理師受験資格に対応したカリキュラムで、卒業後にカウンセラー等を目指す人材を養成する。

学生は入学後、まず大学での学修の基礎を身につけ、福祉あるいは心理の専門性を基礎から磨いていく。専門分野についての実践的な知識・技能を、実験や実習を通じて修得し、社会の現場における課題に取り組む力をもった人材を目指す。

人間社会学部福祉心理学科では今回の収容定員変更に伴い、公認心理師の受験資格に対応した学部カリキュラムを導入し、卒業後にカウンセラー等を目指すことを可能とする。

公認心理師のように、教育機関や企業、病院等の様々な場所でカウンセリングを担える人材への社会的需要は高い状況が続くと考えられる。文部科学省は「児童生徒の教育相談の充実について（報告）」の中で、「最終的には、全ての必要な学校、教育委員会及び教育支援センターに常勤のスクールカウンセラーを配置できることを目指すことが適切である」としている。教育現場で児童生徒の心理的サポートを担えるプロフェッショナルはより多くの活躍が期待されている。

人間社会学部福祉心理学科における教育課程の変更は、より一層社会に貢献できる卒業生を輩出することを目的としている。公認心理師試験の受験資格に対応したカリキュラムを導入し、将来的に公認心理師として活躍していくことが可能な人材を養成していく。

なお、本学では、公認心理師養成大学院として承認された臨床心理学研究科を既に設置している。学部卒業後は当研究科に進学し、公認心理師を目指した学びを修めることが可能である。

## **3.2. 教育方法及び履修指導方法の変更内容**

### **3.2.1. 全学的取組**

各学科の教育方法及び履修指導について述べる前に、全学的な教育改革・環境整備の取り組みについて説明を行う。

#### **・全学的教育改革**

本学は全学的に Semester 制を導入しており、その本旨に則り 4 単位科目の拡充、各科目週 2 回～3 回開講、時間割配置パターンの固定化を徹底している。また、GPA は国際通用性を持ちうる体系としたうえで厳格運用、科目ナンバリング導入による学びの体系化を図っている。学生の学習密度強化のため 1 Semester 20 単位を基本とする キャップ制を導入している。

初年次には全学部横断で大学生活デザイン演習及び ICT 基礎を受講させ、キャリア教育の導入部分を担うと同時に、共同学習・プレゼンテーション・IT リテラシー等の学生生活上の基礎的スキルの修得を図っている。学部毎に開講さ

れる初年次演習についても、全学でシラバスを共通化しアカデミック・リテラシー教育を徹底している。

以上については、学則変更（収容定員変更）後も支障なく運用可能であり、特段の対応変更を行わない。

#### ・教育環境整備

授業外での語学学習環境を整備するため、イングリッシュ・プラザ及びジャパニーズ・プラザを設置している。イングリッシュ・プラザにはネイティブ・スピーカー英語教員や外国人留学生スタッフが常駐し、会話のパートナー、学習支援を行っている。

これら教育環境についても、学則変更（収容定員変更）後も支障なく運用可能であり、特段の対応変更を行わない。

### 3.2.2. 商学部 経営学科

商学部経営学科では、初年次に経営学の基礎を修得するための科目を配置する。経営に関する広範な基礎力を身につけた上で専門的な学びへと、体系的に学習させる。専門課程では、学生の関心・進路に応じたテーマを中心に学べる複数の履修コースを設け、そのコースを中心に初年次演習を通じて学科の学びの指導を、また年度始めには履修ガイダンスならびに個別の履修相談期間を設定し指導を行っている。具体的な履修コースについては、「経営」、「会計・ファイナンス」、「情報」の3つの専門分野を設定している。また、地域と連携した講義や実践的な学びを通じて、社会とつながる学修を進め、社会課題に果敢に取り組む実践力を磨いていく。

定員が増えることについては、主に少人数クラスに影響することが考えられる。経営学科では初年次演習、基礎演習、専門演習といった演習科目が少人数クラス科目に該当し、これらの科目は1クラスあたりの履修者数を25人以下に設定している。令和3年度春学期のクラスあたり平均履修者数は、初年次演習12.3人、基礎演習13.7人、専門演習13.0人である（表5）。担当教員の人数については、初年次演習は8名、選択科目である基礎演習は6名、同じく選択科目である専門演習は10名の教員が担当している。

今回の増員によって入学定員は2倍（160名／80名）となるため、各演習の履修者数も増加が見込まれる。ただし、所属専任教員数は設置基準を超える12名を配置し、学生のニーズによってクラス数を増やすことは可能であるため、定員変更による増員後も十分な教育水準を確保できると考えている。演習科目のクラスサイズについて、増員後の推計結果を表5に示す。

平均履修者数の推計を行うにあたり、初年次演習の履修者数は入学定員と同数、基礎演習と専門演習は現在の履修者数の2倍（160名／80名）と想定し、演習科目のクラスサイズを算出した。仮に全教員12名が各演習を受け持つ場合、増員後の平均履修者数は、初年次演習13.3人、基礎演習13.7人、専門演習21.7人と推計され、1クラスあたり25人を下回る規模で演習科目の実施が可能である。

**表5. 経営学科 演習科目の履修者数**

	令和3年度 春学期			増員後（推計）		
	履修者数	担当教員数	クラスあたり 平均履修者数	履修者数※	担当教員数	クラスあたり 平均履修者数
初年次演習	98	8	12.3	160	12	13.3
基礎演習	82	6	13.7	164	12	13.7
専門演習	130	10	13.0	260	12	21.7

※令和3年度春学期 履修者数×2（初年次演習については入学定員人数）

また、比較的大人数が履修する講義科目（※経営学科の専門科目）については、経営学科の一学年全員が履修する場合でも160名程であり、学生から受ける質問への対応や課題へのフィードバック等を丁寧に行うことが可能な人数規模と言える。仮に、履修者が過剰になったとしても、同一科目の複数クラス開講や春秋両学期での開講等、履修者を分散し、適正な人数規模のクラスとなるよう科目を設定することが可能である。

以上のように、少人数・大人数いずれの科目についても、十分な教育効果をもった授業として増員後も実施していくことが出来ると考える。

### 3.2.3. 人間社会学部 福祉心理学科

人間社会学部福祉心理学科では、初年次に学科の基礎を修得するための科目を配置し、基礎から専門へ体系的に学習させる。専門課程では、学生の関心・進路に応じたテーマを中心に学べる「福祉」、「心理」の2つの専門分野を設け、その分野を中心に初年次演習を通じて学科の学びの指導を、また年度始めには履修ガイダンスならびに個別の履修相談期間を設定し指導を行っている。

公認心理師の受験資格に対応した教育課程への変更により、資格取得を目指す学生に対しては必要な科目を履修するカリキュラムを設定する。

定員が増えることについては、主に少人数クラスに影響することが考えられる。福祉心理学科では初年次演習、基礎演習、専門演習といった演習科目が少人

数クラス科目に該当し、これらの科目は1クラスあたりの履修者数を25人以下に設定している。令和3年度春学期のクラスあたり平均履修者数は、初年次演習14.0人、基礎演習17.0人、専門演習11.5人である（表6）。担当教員の人数については、初年次演習は2名、選択科目である基礎演習は1名、同じく選択科目である専門演習は2名の教員が担当している。

今回の増員によって入学定員は1.8倍（45名/25名）となるため、各演習の履修者数も増加が見込まれる。ただし、所属専任教員数は設置基準を超える9名を配置し、学生のニーズによってクラス数を増やすことは可能であるため、定員変更による増員後も十分な教育水準を確保できると考えている。演習科目のクラスサイズについて、増員後の推計結果を表6に示す。

平均履修者数の推計を行うにあたり、初年次演習の履修者数は入学定員と同数、基礎演習と専門演習は現在の履修者数の1.8倍（45名/25名）と想定し、演習科目のクラスサイズを算出した。仮に各演習の担当教員を現在の倍にする場合、増員後の平均履修者数は、初年次演習11.3人、基礎演習15.3人、専門演習10.4人と推計され、1クラスあたり20人を下回る規模で演習科目の実施が可能である。

**表6. 福祉心理学科 演習科目の履修者数**

	令和3年度 春学期			増員後（推計）		
	履修者数	担当教員数	クラスあたり平均履修者数	履修者数※	担当教員数	クラスあたり平均履修者数
初年次演習	28	2	14.0	45	4	11.3
基礎演習	17	1	17.0	31	2	15.3
専門演習	23	2	11.5	41	4	10.4

※令和3年度春学期 履修者数×1.8（初年次演習については入学定員人数）

また、比較的大人数が履修する講義科目（※福祉心理学科の専門科目）については、福祉心理学科の一学年全員が履修する場合でも45名程であり、学生から受ける質問への対応や課題へのフィードバック等を丁寧に行うことが可能な人数規模と言える。

以上のように、少人数・大人数いずれの科目についても、十分な教育効果をもった授業として増員後も実施していくことが出来ると考える。

### 3.3. 教員組織の変更内容

大学設置基準第13条に定められている専任教員数について、収容定員増後の基準教員数の観点で見えていく。

商学部経営学科の基準教員数は11名であるが、収容定員を変更する令和4年度から完成年度にかけて、常に12名以上の教員を配置していく計画である。令和4年度から完成年度までの間に定年退職となる教員もいるが、適宜補充を行い、基準教員数を上回る専任教員を確保する。補充にあたっては、教員の専門分野や年齢等のバランスを考慮し、長期的な継続性をもった教員組織を編成していく。

人間社会学部福祉心理学科についても、基準教員数8名に対して9名の教員を既に任用している。完成年度までの間に定年退職となる教員はいないため、現員の9名を維持し、基準教員数を上回る専任教員を確保する。

上記のとおり、いずれの学科も基準を上回る人数の教員を配置し、充実した教育を実行していく。

本学では、各学部所属の教員のほか、以下のような学部横断的教育・研究組織を設置し、全学的な教育・研究活動に従事させている。今回学則変更対象となる学科においても、これら組織の貢献は極めて大きい。

全学的な英語教育組織グローバル・ティーチング・インスティテュート(GTI)を設置し、現在42人の北米出身の英語ネイティブ教員を擁している。GTIは1クラス10名程度の対話型授業できめ細やかな指導を行っており、今後についてもその質を担保するよう努めていく。更に令和2年度にはビジネス分野の実務家教員も学部と兼務で配置し、「使える英語」を目指し、連携して海外インターンシップ、PBL等を指導する体勢を整えている。

このように、今回の収容定員変更後における対象学科の教育課程実施に教員組織上の問題はない。本学としては、受験生及び社会に評価されているこの組織を更に発展させていくために、専門性、年齢、保有学位・教歴、多様性等のバランスに配慮し、教育効果を発揮できる教員組織の編成に努めていく。

### 3.4. 大学全体の施設・設備の変更内容

今回の収容定員変更に伴う大学全体の施設・設備の変更は行わない。埼玉県川越市に所在する本学第1、第2キャンパスは、校地面積77,288㎡、校舎面積61,023㎡の規模を持ち、校舎面積として十分に大学設置基準が定める水準を充たしている。更に、総合スポーツ・グラウンド施設として校地面積166,739㎡の坂戸キャンパスも整備している。

川越市の第1キャンパスには、イングリッシュ・プラザ、ジャパニーズ・プラザといった学習スペースを整備しており、日本人学生と外国人留学生が共に学ぶ環境として定員増後も十分な対応が可能である。また、令和5年9月には東

京都豊島区東池袋に、校地面積 10,000 m<sup>2</sup>、校舎面積約 26,700 m<sup>2</sup>の新キャンパスを開校する予定である。新キャンパスは本学グローバル教育機能の中核となる。

#### 4. 2以上の校地において教育研究を行う場合の具体的計画

商学部経営学科は入学から卒業まで、本学第 1 キャンパスで学修に取り組んでいく。一方、人間社会学部福祉心理学科については原則的に本学第 2 キャンパスで学修に取り組んでいくが、全学部横断の必修科目である「大学生活デザイン演習」および「ICT 基礎」の 2 科目のみ、第 1 キャンパスで授業を受ける。

福祉心理学科は 2 以上の校地において教育を行うことになるため、教育体制について具体的な計画を詳述する。なお、校地が別の場所となる授業は 1 年次の春学期に履修する当該 2 科目のみで限定的なため、各校地ごとに収容定員は定めていない。また、当該 2 科目の担当教員は福祉心理学科所属の教員ではなく、第 1 キャンパスで福祉心理学科の専門科目を開講することもないため、福祉心理学科では全教員を第 2 キャンパスに配置する。福祉心理学科教員が校地間を移動して授業を行うことはない。

学生への配慮について、第 1 キャンパスと第 2 キャンパス間は片道徒歩 12 分程度で移動が可能であるが、「大学生活デザイン演習」および「ICT 基礎」の履修にあたっては他授業への影響が最小限になるよう配慮を行う。具体的には、人間社会学部福祉心理学科の学生に対しては、当該 2 科目の開講時限をいずれも午後の時限に設定する。休憩時間の長い昼休みが授業前にあることで、午前は第 2 キャンパスでの授業を受け、午後に当該科目を第 1 キャンパスで受けるといった時間割も可能となる。

施設設備等に関しては、第 1 キャンパスの教室には十分な余裕があり、福祉心理学科の学生も含めて「大学生活デザイン演習」および「ICT 基礎」の授業を実施することに問題はない。また、「ICT 基礎」の授業で使用することになる PC 設備等についても十分な数を備えているため、問題なく授業を運営することが可能である。

以上のように、福祉心理学科については、「大学生活デザイン演習」および「ICT 基礎」を別の校地で開講する上で問題のない教育体制を構築していく。

# 添付資料

(学則の変更の趣旨等を記載した書類)

東京国際大学



## 目次

資料 1.	教育課程等の概要	3
	商学部 経営学科	3
	人間社会学部 福祉心理学科 全体	7
	人間社会学部 福祉心理学科 第1キャンパス	11
	人間社会学部 福祉心理学科 第2キャンパス	12

資料1. 教育課程等の概要

商学部 経営学科

別記様式第2号（その2の1）

（用紙 日本工業規格A4縦型）

教育課程等の概要														
(商学部経営学科)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
T I U C A	大学生活デザイン演習	1前	2				○							兼1
	初年次演習	1前・後	2+2				○		11	1				
	ICT基礎	1前	2			○								兼1
	小計（3科目）	—	8	0	0	—	—	—	11	1	0	0	0	兼1
教 養 コ ア 科 目	人間と文化	哲学	1後	4		○								兼3
	倫理学	1前・後	4		○									兼3
	芸術論	1前・後	4		○									兼2
	文学	1前・後	4		○									兼2
	ことば学入門	1前・後	4		○									兼2
	アジア・アラブ史	1前・後	4		○									兼1
	アメリカ・ヨーロッパ史	1前	4		○									兼1
	日本史	1前・後	4		○									兼2
	地理学概論	1後	4		○									兼1
	人文地理学	1後	4		○									兼1
	日本の文化	1前・後	4		○									兼1
	異文化概論	1前・後	4		○									兼2
	文化人類学	1前・後	4		○									兼1
	Introduction to American Society	1前	4		○									兼2
Life & Tradition in America	休	4		○										
現 代 社 会	法学	1前・後	4		○									兼2
	憲法	1前・後	4		○									兼1
	政治学	1前・後	4		○									兼2
	経済学	1前・後	4		○									兼4
	社会学	1前・後	4		○									兼2
	現代の社会	1前・後	4		○									兼1
	心理学概論	1前・後	4		○									兼4
自 然 科 学 と 環 境	自然科学概論	1後	4		○									兼1
	環境と自然	1前・後	4		○				1					兼2
	科学思想史	1後	4		○									兼1
	統計学入門	1前・後	4		○									兼4
	情報処理の基礎	1前・後	4		○									兼2
ボ ー ス	健康・スポーツ科学	1前・後	4		○									兼3
	健康・スポーツ実技	1前・後	1				○							兼8
	小計（29科目）	—	0	113	0	—	—	—	1	0	0	0	0	兼47
言 語 ス キ ル 科 目	英語	Oral Communication	1前・後	2		○								兼6
	Reading & Writing	1前・後	2		○					1				兼3
	English Workshop	1前・後	2		○									兼1
	Media English	1前	2		○									兼1
	Communication Basic I	1前	2		○									兼2
	Communication Basic II	1後	2		○									兼2
	English Comprehension I	1前	2		○									兼2
	English Comprehension II	1後	2		○									兼2
	Basic Speaking I	1前	1		○									兼2
	Basic Speaking II	1後	1		○									兼2
	Basic Writing I	1前	1		○									兼2
	Basic Writing II	1後	1		○									兼2
	Intermediate Speaking and Listening A	2前	2		○									兼2
	Intermediate Speaking and Listening B	2後	2		○									兼2
Intermediate Reading and Writing A	2前	2		○									兼2	
Intermediate Reading and Writing B	2後	2		○									兼2	

言語スキル科目	その他の外国語	ドイツ語入門	1前		2		○											兼1		
		実践ドイツ語	1後		2		○												兼1	
		フランス語入門	1前		2		○												兼1	
		実践フランス語	1後		2		○												兼1	
		スペイン語入門	1前		2		○												兼1	
		実践スペイン語	1後		2		○												兼1	
		中国語入門	1前・後		2		○												兼3	
		実践中国語	1後		2		○												兼2	
		ハングル入門	1前・後		2		○													兼1
		実践ハングル	1後		2		○													兼1
		ロシア語入門	1前		2		○													兼1
アラビア語入門	1前		2		○													兼1		
日本語	留学生	アカデミック日本語	1前		2		○												兼1	
		日本語ワークショップ	1後		2		○												兼1	
		ビジネス日本語	2前		2		○												兼1	
小計 ( 31科目)			—	0	58	0	—			0	1	0	0	0	0	0	0	兼19	—	
自由選択科目	キャリア形成支援科目	インターンシップ入門	1前		2		○												兼1	
		インターンシップ	2前		1				○										兼1	
		グローバルインターンシップ	2後		4					○									兼1	
		ボランティア活動	1前		1					○									兼1	
		アカデミック・ライティング	1前		2			○											兼1	
		キャリア・Re-スタート	1後		2			○											兼1	
	地域の安全と警察	2後		2			○											兼1		
	プロジェクト科目	観光まちおこしワークショップ入門	1前・後		2					○										兼3
		観光まちおこしワークショップ実践A	1前・後		2					○										兼1
		観光まちおこしワークショップ実践B	1前・後		2					○										兼1
		観光まちおこしワークショップ実践C	1前・後		2					○										兼1
		観光まちおこしプロジェクトA	2前		1					○										兼1
		観光まちおこしプロジェクトB	2後		1					○										兼1
		観光まちおこしプロジェクトC	2前・後		1					○										兼1
		留学プランニング (ASP Prep)	1前・後		1				○											兼1
		海外ゼミナールA	1前・後		4				○											兼1
		海外ゼミナールB	1前・後		2				○											兼1
特別授業A		2前・後		2				○											兼1	
特別授業B	2前・後		4				○											兼1		
スポーツパフォーマンス実習 I	1前		2						○		1							兼14		
スポーツパフォーマンス実習 II	1後		2						○		1							兼14		
基礎科目特殊講義A	1前・後		2				○											兼1		
基礎科目特殊講義B	1前・後		4				○											兼1		
小計 ( 23科目)			—	0	48	0	—			1	0	0	0	0	0	0	0	兼25	—	
専門科目	共通科目	経営学概論	1前・後		4		○				2									
		会計学概論	1後		4		○				1									
		情報社会と情報倫理	1前・後		2		○				2									
		情報処理論	1前		2		○				1									
	卒業論文	基礎演習	2前・後		2			○			11	1								
		専門演習	3前・後		2			○			11	1								
		卒業研究	3後		4			○			11	1								
	クォーター	商学概論	1後		4		○													兼1
		マーケティング論	2前		4		○													兼1
流通論		2前・後		4		○													兼1	



専門科目	専門関連科目	数学入門	1前	4	○										兼2
		社会史A	1前	4	○										兼1
		社会史B	1前	4	○										兼1
		環境問題とビジネス	2前	2	○										兼1
		交通論	2前・後	4	○										兼1
		立地論	2前	4	○										兼1
		ビジネス・ソリューション	1後	4	○			1							
		ビジネス英語	1後	4	○				1						
		ビジネス中国語	1後	4	○			1							
		ビジネススペイン語	1後	4	○										兼1
		スポーツ英語	1前・後	2	○					1					兼1
		専門外国書研究（英語）	2前	2	○										兼1
		商学部特殊講義A	2前	2	○										兼1
		商学部特殊講義B	2前	4	○										兼1
小計（84科目）	—	0	302	0	—		11	1	0	0	0	0	兼36	—	
合計（170科目）		—	8	521	0	—		11	1	0	0	0	兼134	—	
学位又は称号		学士（経営学）			学位又は学科の分野			経済学関係							
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
TIUコア科目8単位必修，教養コア科目および言語スキル科目から20単位，専門科目・学科内専門共通科目から4単位，専門科目から40単位，その他科目区分を問わず52単位を履修し，124単位以上修得すること。 （履修登録の上限：40単位（年間））							1学年の学期区分			2学期					
							1学期の授業期間			15週					
							1時限の授業時間			90分					

人間社会学部 福祉心理学科 全体

別記様式第2号 (その2の1)

(用紙 日本工業規格A4縦型)

教育課程等の概要														
(人間社会学部福祉心理学科)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
T I U C O A	大学生生活デザイン演習	1前	2				○							兼1
	初年次演習	1前・後	2+2				○		2	1	1			兼1
	ICT基礎	1前	2			○								
	小計 ( 3科目)	—	8	0	0		—		2	1	1	0	0	兼1
教 養 C O A 科 目	人間と文化	1後		4		○								兼3
	倫理学	1前・後		4		○								兼3
	芸術論	1前・後		4		○								兼2
	文学	1前・後		4		○				1				兼1
	ことば学入門	1前・後		4		○								兼2
	アジア・アラブ史	1前		4		○								兼1
	アメリカ・ヨーロッパ史	1前		4		○								兼1
	日本史	1前・後		4		○								兼2
	地理学概論	1後		4		○								兼1
	人文地理学	1後		4		○								兼1
	日本の文化	1前・後		4		○								兼1
	異文化概論	1前・後		4		○								兼2
	文化人類学	1前・後		4		○								兼1
	Introduction to American Society	1後		4		○								兼2
	Life & Tradition in America	休		4		○								
現 代 社 会	法学	1前・後		4		○								兼2
	憲法	1前・後		4		○								兼1
	政治学	1前・後		4		○								兼2
	経済学	1前・後		4		○								兼4
	社会学	1前・後		4		○								兼2
	現代の社会	1前・後		4		○								兼1
	心理学概論	1前・後		4		○			1		1			兼2
自 然 科 学 と 環 境	自然科学概論	1後		4		○								兼1
	環境と自然	1前・後		4		○								兼3
	科学思想史	1後		4		○								兼1
	統計学入門	1前・後		4		○								兼4
	情報処理の基礎	1前・後		4		○								兼2
ホ ル ツ ス	健康・スポーツ科学	1前・後		4		○								兼3
	健康・スポーツ実技	1前・後		1				○						兼8
	小計 ( 29科目)	—	0	113	0		—		1	1	1	0	0	兼45
言 語 ス キ ル 科 目	英語	1前・後		2		○								兼7
	Reading & Writing	1前・後		2		○				1				兼3
	English Workshop	1前・後		2		○								兼1
	Media English	1前		2		○								兼1
	Communication Basic I	1前		2		○								兼2
	Communication Basic II	1後		2		○								兼2
	English Comprehension I	1前		2		○								兼2
	English Comprehension II	1後		2		○								兼2
	Basic Speaking I	1前		1		○								兼2
	Basic Speaking II	1後		1		○								兼2
	Basic Writing I	1前		1		○								兼2
	Basic Writing II	1後		1		○								兼2
	Intermediate Speaking and Listening A	2前		2		○								兼2
	Intermediate Speaking and Listening B	2後		2		○								兼2
Intermediate Reading and Writing A	2前		2		○								兼2	
Intermediate Reading and Writing B	2後		2		○								兼2	

言語スキル科目	その他の外国語	ドイツ語入門	1前		2		○											兼1		
		実践ドイツ語	1後		2		○												兼1	
		フランス語入門	1前		2		○												兼1	
		実践フランス語	1後		2		○												兼1	
		スペイン語入門	1前		2		○												兼1	
		実践スペイン語	1後		2		○												兼1	
		中国語入門	1前・後		2		○												兼3	
		実践中国語	1後		2		○												兼2	
		ハングル入門	1前・後		2		○													兼1
		実践ハングル	1後		2		○													兼1
		ロシア語入門	1前		2		○													兼1
		アラビア語入門	1前		2		○													兼1
	留學生 日本語	アカデミック日本語	1前		2		○												兼1	
日本語ワークショップ		1後		2		○												兼1		
ビジネス日本語		2前		2		○												兼1		
小計 ( 31科目)		—	0	58	0	—			0	1	0	0	0	0	0	0	0	兼19	—	
自由選択科目	キャリア形成支援科目	インターンシップ入門	1前		2		○												兼1	
		インターンシップ	2前		1				○										兼1	
		グローバルインターンシップ	2後		4					○									兼1	
		ボランティア活動	1前		1					○									兼1	
		アカデミック・ライティング	1前		2		○												兼1	
		キャリア・Re-スタート	1後		2		○												兼1	
		地域の安全と警察	2後		2		○												兼1	
	プロジェクト科目	観光まちおこしワークショップ入門	1前・後		2					○										兼3
		観光まちおこしワークショップ実践A	1前・後		2					○										兼1
		観光まちおこしワークショップ実践B	1前・後		2					○										兼1
		観光まちおこしワークショップ実践C	1前・後		2					○										兼1
		観光まちおこしプロジェクトA	2前		1					○										兼1
		観光まちおこしプロジェクトB	2後		1					○										兼1
		観光まちおこしプロジェクトC	2前・後		1					○										兼1
		留学プランニング (ASP Prep)	1前・後		1				○											兼1
		海外ゼミナールA	1前・後		4				○											兼1
		海外ゼミナールB	1前・後		2				○											兼1
		特別授業A	2前・後		2			○												兼1
		特別授業B	2前・後		4			○												兼1
		スポーツパフォーマンス実習 I	1前		2						○									兼15
		スポーツパフォーマンス実習 II	1後		2						○									兼15
		基礎科目特殊講義A	1前・後		2			○												兼1
		基礎科目特殊講義B	1前・後		4			○												兼1
小計 ( 23科目)		—	0	48	0	—			0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼29	—	
学科間共通専門科目	卒業研究	基礎演習	2前・後		2				○			2								
		心理演習/専門演習	3通		4				○			4								
		卒業研究	4後		4				○			1								
	教育	教育原理	2前・後		4			○												兼2
		教育相談	2前・後		2			○												兼1
	福祉	社会福祉概論	1後		4			○					1							
		児童福祉論	1後		4			○					1							
		福祉教育論	1前		4			○												兼1
		医療社会論	1後		4			○												兼1
	心理	教育心理学	1後		4			○				1								兼1
		発達心理学	1後		4			○				1								
		対人関係論	2前		4			○						1						
		社会心理学	2前		4			○												兼1
	スポーツ	スポーツ社会学	1後		4			○												兼2
		スポーツ心理学	1後		4			○												兼2
		スポーツ・アドミニストレーション入門	2前		2			○												兼1
		スポーツ・アドミニストレーション	3前		2			○												兼1
スポーツ産業論		2後		2			○												兼1	
スポーツウェルネス		3前		4			○												兼1	
コミュニティスポーツ論		3前		4			○												兼2	
アキヤリ	人間社会学部特殊講義A	3前		2			○												兼1	
	人間社会学部特殊講義B	3後		4			○												兼1	



学位又は称号	学士（福祉心理学）	学位又は学科の分野	文学関係，社会学・社会福祉学関係	
卒業要件及び履修方法			授業期間等	
TIUコア科目8単位必修，教養コア科目および言語スキル科目から20単位，学科間共通専門科目および福祉心理学科専門科目から36単位，その他科目区分を問わず60単位を履修し，124単位以上修得すること。 （履修登録の上限：40単位（年間））			1 学年の学期区分	2学期
			1 学期の授業期間	15週
			1 時限の授業時間	90分

人間社会学部 福祉心理学科 第1キャンパス

別記様式第2号(その2の1)

第一キャンパス

(用紙 日本工業規格A4縦型)

教 育 課 程 等 の 概 要														
(人間社会学部福祉心理学科)														
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
T I U コ ア 科目	大学生生活デザイン演習	1前	2				○							兼1
	ICT基礎	1前	2			○								兼1
	小計(2科目)	—	4	0	0		—		0	0	0	0	0	兼1
合計(2科目)		—	4	0	0		—		0	0	0	0	0	兼1
学位又は称号		学士(福祉心理学)		学位又は学科の分野			文学関係, 社会学・社会福祉学関係							
卒業要件及び履修方法						授業期間等								
TIUコア科目8単位必修, 教養コア科目および言語スキル科目から20単位, 学科間共通専門科目および福祉心理学科専門科目から36単位, その他科目区分を問わず60単位を履修し, 124単位以上修得すること。 (履修登録の上限: 40単位(年間))						1学年の学期区分				2学期				
						1学期の授業期間				15週				
						1時限の授業時間				90分				

人間社会学部 福祉心理学科 第2キャンパス

別記様式第2号 (その2の1)

第二キャンパス

(用紙 日本工業規格A4縦型)

教育課程等の概要															
(人間社会学部福祉心理学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
T I U コ ア	初年次演習	1前・後	2+2					○		2	1	1			
	小計 ( 1科目)	—	4	0	0			—		2	1	1	0	0	
教 養 コ ア 科 目	人間と文化	1後		4				○							
	倫理学	1前・後		4				○						兼3	
	芸術論	1前・後		4				○						兼2	
	文学	1前・後		4				○		1				兼1	
	ことば学入門	1前・後		4				○						兼2	
	アジア・アラブ史	1前		4				○						兼1	
	アメリカ・ヨーロッパ史	1前		4				○						兼1	
	日本史	1前・後		4				○						兼2	
	地理学概論	1後		4				○						兼1	
	人文地理学	1後		4				○						兼1	
	日本の文化	1前・後		4				○						兼1	
	異文化概論	1前・後		4				○						兼2	
	文化人類学	1前・後		4				○						兼1	
	Introduction to American Society	1後		4				○						兼2	
	Life & Tradition in America	休		4				○							
	現代社会	1前・後		4				○							兼2
	憲法	1前・後		4				○							兼1
	政治学	1前・後		4				○							兼2
	経済学	1前・後		4				○							兼4
	社会学	1前・後		4				○							兼2
現代の社会	1前・後		4				○							兼1	
心理学概論	1前・後		4				○		1		1			兼2	
自然 科学 と 環 境	自然科学概論	1後		4				○						兼1	
	環境と自然	1前・後		4				○						兼3	
	科学思想史	1後		4				○						兼1	
	統計学入門	1前・後		4				○						兼4	
ボ ー ス と ス ポ ー ツ	健康・スポーツ科学	1前・後		4				○						兼3	
	健康・スポーツ実技	1前・後		1										兼8	
	小計 ( 29科目)	—	0	113	0			—		1	1	1	0	0	兼45
言 語 ス キ ル 科 目	英語	Oral Communication	1前・後		2			○							兼7
	Reading & Writing	1前・後		2				○			1				兼3
	English Workshop	1前・後		2				○							兼1
	Media English	1前		2				○							兼1
	Communication Basic I	1前		2				○							兼2
	Communication Basic II	1後		2				○							兼2
	English Comprehension I	1前		2				○							兼2
	English Comprehension II	1後		2				○							兼2
	Basic Speaking I	1前		1				○							兼2
	Basic Speaking II	1後		1				○							兼2
	Basic Writing I	1前		1				○							兼2
	Basic Writing II	1後		1				○							兼2
	Intermediate Speaking and Listening A	2前		2				○							兼2
	Intermediate Speaking and Listening B	2後		2				○							兼2
	Intermediate Reading and Writing A	2前		2				○							兼2
Intermediate Reading and Writing B	2後		2				○							兼2	

言語スキル科目	その他の外国語	ドイツ語入門	1前		2		○											兼1		
		実践ドイツ語	1後		2		○												兼1	
		フランス語入門	1前		2		○												兼1	
		実践フランス語	1後		2		○												兼1	
		スペイン語入門	1前		2		○												兼1	
		実践スペイン語	1後		2		○												兼1	
		中国語入門	1前・後		2		○												兼3	
		実践中国語	1後		2		○												兼2	
		ハングル入門	1前・後		2		○													兼1
		実践ハングル	1後		2		○													兼1
		ロシア語入門	1前		2		○													兼1
		アラビア語入門	1前		2		○													兼1
	留學生	アカデミック日本語	1前		2		○												兼1	
日本語ワークショップ		1後		2		○												兼1		
ビジネス日本語		2前		2		○												兼1		
小計 ( 31科目)		—	0	58	0	—			0	1	0	0	0	0	0	0	0	兼19	—	
自由選択科目	キャリア形成支援科目	インターンシップ入門	1前		2		○												兼1	
		インターンシップ	2前		1				○										兼1	
		グローバルインターンシップ	2後		4					○										兼1
		ボランティア活動	1前		1					○										兼1
		アカデミック・ライティング	1前		2		○													兼1
		キャリア・Re-スタート	1後		2		○													兼1
		地域の安全と警察	2後		2		○													兼1
	プロジェクト科目	観光まちおこしワークショップ入門	1前・後		2					○										兼3
		観光まちおこしワークショップ実践A	1前・後		2					○										兼1
		観光まちおこしワークショップ実践B	1前・後		2					○										兼1
		観光まちおこしワークショップ実践C	1前・後		2					○										兼1
		観光まちおこしプロジェクトA	2前		1					○										兼1
		観光まちおこしプロジェクトB	2後		1					○										兼1
		観光まちおこしプロジェクトC	2前・後		1					○										兼1
		留学プランニング (ASP Prep)	1前・後		1				○											兼1
		海外ゼミナールA	1前・後		4				○											兼1
		海外ゼミナールB	1前・後		2				○											兼1
		特別授業A	2前・後		2			○												兼1
		特別授業B	2前・後		4			○												兼1
		スポーツパフォーマンス実習 I	1前		2						○									兼15
		スポーツパフォーマンス実習 II	1後		2						○									兼15
		基礎科目特殊講義A	1前・後		2			○												兼1
		基礎科目特殊講義B	1前・後		4			○												兼1
小計 ( 23科目)		—	0	48	0	—			0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼29	—	
学科間共通専門科目	卒業研究	基礎演習	2前・後		2				○			2								
		心理演習/専門演習	3通		4				○			4								
		卒業研究	4後		4				○			1								
	教育	教育原理	2前・後		4			○												兼2
		教育相談	2前・後		2			○												兼1
	福祉	社会福祉概論	1後		4			○					1							
		児童福祉論	1後		4			○					1							
		福祉教育論	1前		4			○												兼1
		医療社会論	1後		4			○												兼1
	心理	教育心理学	1後		4			○				1								兼1
		発達心理学	1後		4			○				1								
		対人関係論	2前		4			○						1						
		社会心理学	2前		4			○												兼1
	スポーツ	スポーツ社会学	1後		4			○												兼2
		スポーツ心理学	1後		4			○												兼2
		スポーツ・アドミニストレーション入門	2前		2			○												兼1
		スポーツ・アドミニストレーション	3前		2			○												兼1
スポーツ産業論		2後		2			○												兼1	
スポーツウェルネス		3前		4			○												兼1	
コミュニティスポーツ論		3前		4			○												兼2	
アキヤリ	人間社会学部特殊講義A	3前		2			○												兼1	
	人間社会学部特殊講義B	3後		4			○												兼1	



学位又は称号	学士（福祉心理学）	学位又は学科の分野	文学関係，社会学・社会福祉学関係	
卒業要件及び履修方法			授業期間等	
TIUコア科目8単位必修，教養コア科目および言語スキル科目から20単位，学科間共通専門科目および福祉心理学科専門科目から36単位，その他科目区分を問わず60単位を履修し，124単位以上修得すること。 （履修登録の上限：40単位（年間））			1 学年の学期区分	2学期
			1 学期の授業期間	15週
			1 時限の授業時間	90分

# 学生の確保の見通し等を記載した書類

(収容定員変更に係る学則変更)

東京国際大学



# 目次

1. 学生の確保の見通しおよび申請者としての取組状況.....	3
1.1. 学生の確保の見通し .....	3
1.1.1. 定員充足の見込みおよび入学定員設定の考え方 .....	3
1.1.2. 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要.....	4
1.1.2.1. 大学進学者数の推移 .....	4
1.1.2.2. 埼玉県、東京都における志願動向 .....	6
1.1.2.3. 各学科の志願動向 .....	7
1.1.2.4. 他大学の心理学部の動向 .....	9
1.2. 学生確保に向けた具体的な取組状況.....	11
2. 人材需要の動向等社会の要請 .....	13
2.1. 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要） .....	13
2.2. 人材需要の客観的根拠.....	13
2.2.1. 東京国際大学に対する社会からの評価.....	13
2.2.2. 各学科の就職状況 .....	14
2.2.3. 公認心理師に対する社会的需要 .....	14

## 1. 学生の確保の見通しおよび申請者としての取組状況

### 1.1. 学生の確保の見通し

#### 1.1.1. 定員充足の見込みおよび入学定員設定の考え方

今回の収容定員変更では、以下のとおり入学定員・収容定員を定めた（表 1）。商学部経営学科は入学定員を 80 名拡大することで、現在の 80 名から 160 名へと増員する。人間社会学部福祉心理学科については、入学定員を現在の 25 名から 45 名へと増員する。

表 1. 令和 4 年度 収容定員変更の概要

学部	学科	現行		変更後		差	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
商学部	経営学科	80人	320人	160人	640人	+80人	+320人
人間社会学部	福祉心理学科	25人	100人	45人	180人	+20人	+80人
合計		105人	420人	205人	820人	+100人	+400人

今般の収容定員変更は、本学に対する受験生のニーズに応えることを目的としている。

本学は建学の精神として「公德心を体した真の国際人の養成」を掲げ、国際教育に関する特長は受験生からも高い評価を得ている。令和元年度には、英語で学位取得可能なイングリッシュ・トラック・プログラムを擁する経済学部経済学科、国際関係学部国際関係学科の入学定員を、他学部他学科の入学定員から振り分けることで増員し、志願者の増加に対応していた（資料 1）。

しかし近年、商学部経営学科や人間社会学部福祉心理学科についても志願者数は増加傾向にある（表 2）。令和 3 年度は新型コロナウイルスによる影響から前年に比べて落ち込みはしたが、平成 29 年度に比べ志願者数は大きく増加しており、本学の教育内容に共感する受験生のニーズに対応するため、あらためて当該学科の収容定員増を企図している。

**表 2. 各学科の志願動向**

< 商学部 経営学科 >

入学年度		平成29	平成30	令和元(平成31)	令和2	令和3
①	入学定員	100	100	80	80	80
②	志願者数	334	395	536	1,094	672
③	志願倍率 ②/①	3.34	3.95	6.70	13.68	8.40

< 人間社会学部 福祉心理学科 >

入学年度		平成29	平成30	令和元(平成31)	令和2	令和3
①	入学定員	50	50	25	25	25
②	志願者数	84	106	150	232	161
③	志願倍率 ②/①	1.68	2.12	6.00	9.28	6.44

変更後の入学定員については、過去 5 年間の本学志願動向からシミュレーションを行い、適正な入学者選抜を行える水準を想定し、設定した。本学に在籍する学生の多くの出身地域である埼玉県、東京都における今後の大学進学者数の予測や、他大学心理学部の志願・入学動向からも、設定した入学定員を充足していくことが可能と考える。

また、入学定員の設定に当たっては、収容定員変更に合わせて実行する教育課程の改良（福祉心理学科の公認心理師対応カリキュラム導入）や、教員組織、校地、校舎等の施設、設備その他の教育上の諸条件を勘案したうえで、教育効果が十分発揮できる範囲での定員増加になるよう留意している。教員組織については授業内容や方法、履修指導體制等を考慮のうえ、効果的教育が実施できる人数による体制を構築している。それぞれの学科においては、大学設置基準が定める必要専任教員数を超える専任教員を配置し、入学定員を増加しても十分対応可能な体制とする。

## 1.1.2. 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

### 1.1.2.1. 大学進学者数の推移

今後の中長期的な学生確保見通しを考察するため、まずは大学進学者全体のボリュームの変化を国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成 30（2018）年推計）」及び文部科学省「大学への進学者数の将来推計について」のデータをもとに推計した。

本学に在籍する学生（留学生を除く）の出身地域（保護者住所）は埼玉県と東京都の 2 都県で 6 割～7 割を占める。したがって、大学進学者数の予測にあたっては、当該 2 都県における大学進学者数推移を見ていく。**表 3** に示すとおり、埼玉県の大学進学適齢人口について、2015 年の 354,632 人を 100.0 とする場合、2020 年には 335,397 人（94.6）、2030 年には 303,238 人（85.5）と、2030 年ま

でに 14.5%の減少が見込まれる。一方、東京都については、2015年の572,290人を100.0とする場合、2020年には552,167人(96.5)、2030年には564,674人(98.7)と、埼玉県に比べて人口の減少幅は小さく、1.3%の減少に留まることが推計されている。

**表 3. 大学進学適齢人口の推移予測**

<15～19歳推計人口>

	2015年	2020年	2025年	2030年
埼玉県	354,632	335,397	322,194	303,238
	100.0	94.6	90.9	85.5
東京都	572,290	552,167	557,895	564,674
	100.0	96.5	97.5	98.7

国立社会保障・人口問題研究所

「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」

次いで、大学進学率の推移予測に関しても表4で見ていく。埼玉県については、2015年の51.1%を100.0とする場合、2020年には53.6%(104.9)、2030年には57.9(113.3)と、2030年までに2015年と比べて13.3%の増加が予測されている。東京都については、現在の大学進学率が既に極めて高いことから、2030年の大学進学率は2015年と同じく72.8%であることが予測されている。

**表 4. 大学進学率の推移予測**

<大学進学率>

	2015年	2020年	2025年	2030年
埼玉県	51.1%	53.6%	55.6%	57.9%
	100.0	104.9	108.8	113.3
東京都	72.8%	72.8%	72.8%	72.8%
	100.0	100.0	100.0	100.0

文部科学省「大学への進学者数の将来推計について」

上記で示してきた大学進学適齢人口と大学進学率の数値を掛け合わせ、大学進学者数の推移予測として表したものが表5である。埼玉県については、大学進学適齢人口は減少する一方で、大学進学率は上昇するため、2015年を100.0とする場合、2020年では99.2、2030年では96.9と、3.1%の僅かな減少に留まる。また、東京都についても、大学進学適齢人口の減少が僅かであるため、2015年を100.0とする場合、2020年では96.5、2030年では98.7と推移して

いくことが予測できる。

**表 5. 大学進学者数の推移予測**

< 指数：（15～19歳推計人口）×（大学進学率） >

	2015年	2020年	2025年	2030年
埼玉県	100.0	99.2	98.9	96.9
東京都	100.0	96.5	97.5	98.7

日本社会における少子化の進行によって、大学の学生募集環境は今後も楽観視できる状況ではない。しかし、以上で見てきたとおり、本学へ入学してくる学生の主要な出身地域である埼玉県、東京都では、今後の大学進学者数に極端な落ち込みはないと予測でき、十分に定員を充たしていくことが可能な環境だと考えられる。

#### 1.1.2.2. 埼玉県、東京都における志願動向

日本私立学校振興・共済事業団の「私立大学・短期大学等入学志願動向」に公表されている「地域別の動向（大学・学校別）」において、本学の主たる通学圏である埼玉県及び東京都における平成26年度以降6年間の志願倍率、入学定員充足率を確認した（表6）。埼玉県、東京都ともに入学定員の拡大を上回るペースで志願者数が増加、志願倍率は上昇傾向にあり、令和2年度の志願倍率は埼玉県が6.4倍、東京都が10.4倍となっている。入学定員充足率も安定的に1.00を超えており、定員を充たしていくことが可能な環境と考えられる。

**表 6. 地域別の志願動向**

	年度	入学定員	志願者	合格者	入学者	志願倍率	合格率	歩留	充足率
		①	②	③	④	②/①	③/②	④/③	④/①
埼玉	平成27	16,738	72,406	34,608	17,508	4.3	47.8%	50.6%	1.05
	平成28	16,754	77,684	36,163	17,090	4.6	46.6%	47.3%	1.02
	平成29	16,875	80,739	36,296	17,434	4.8	45.0%	48.0%	1.03
	平成30	17,046	88,025	36,781	17,941	5.2	41.8%	48.8%	1.05
	令和元	17,137	105,056	38,845	18,510	6.1	37.0%	47.7%	1.08
	令和2	17,107	109,902	38,749	18,412	6.4	35.3%	47.5%	1.08
東京	平成27	168,390	1,632,817	492,515	185,187	9.7	30.2%	37.6%	1.10
	平成28	170,553	1,680,215	492,001	185,914	9.9	29.3%	37.8%	1.09
	平成29	175,024	1,803,679	481,265	187,859	10.3	26.7%	39.0%	1.07
	平成30	179,549	1,941,659	462,130	186,116	10.8	23.8%	40.3%	1.04
	令和元	180,659	2,001,091	469,256	184,115	11.1	23.5%	39.2%	1.02
	令和2	181,781	1,899,211	504,652	183,897	10.4	26.6%	36.4%	1.01

### 1.1.2.3. 各学科の志願動向

収容定員を変更する各学科について、平成 29 年度以降の 5 年間における志願動向を整理した（表 7、表 8）。いずれの学科も、平成 29 年度から令和 3 年度にかけて志願者数は堅調に推移している。令和 3 年度については、新型コロナウイルスによる影響から前年に比べて落ち込みはしたが、平成 29 年度に比べ志願者数は大きく増加しており、各学科とも志願倍率は 6 倍を超える。

各学科の実績を示すとともに、定員増後の定員充足率 1.00 に必要な合格者数・合格率のシミュレーションを行った。シミュレーションにあたり、志願者数は令和 3 年度の実績と令和 2 年度の実績の中間の人数（（令和 3 年度志願者数＋令和 2 年度志願者数）／2）と想定した。理由として、令和 3 年度入試は新型コロナウイルスによる影響から十分な学生募集活動を実施できなかったが、令和 4 年度入試に向けての活動では令和 2 年度入試並みの活動を実行する予定であり、一定程度の志願者数の回復を見込んでいるためである。合格者のうちの入学者の比率を示す歩留は、平成 29 年度から令和 3 年度の過去 5 年間の平均値を使用している。シミュレーションの結果、定員増加後においても、適正な入学者選抜を行った上で定員を充足していくことが可能と考える。

以下に学科ごとの詳細を述べる。

#### ・商学部 経営学科

表 7. 商学部 経営学科の志願動向

入学年度	平成29	平成30	令和元 (平成31)	令和2	令和3	シミュレーション
① 入学定員	100	100	80	80	80	160
② 志願者数	334	395	536	1,094	672	883
③ 合格者数	225	211	211	354	409	405
④ 入学者数	125	101	90	94	101	160
⑤ 志願倍率 ②/①	3.34	3.95	6.70	13.68	8.40	5.52
⑥ 合格率 ③/②	67.4%	53.4%	39.4%	32.4%	60.9%	45.9%
⑦ 歩留 ④/③	55.6%	47.9%	42.7%	26.6%	24.7%	39.5%
⑧ 定員充足率 ④/①	1.25	1.01	1.13	1.18	1.26	1.00

商学部経営学科の志願者数は、平成 29 年度の 334 人から増加が続き、令和 2 年度には 1,094 人に達した。新型コロナウイルスの影響を受けた令和 3 年度でも 672 人が志願しており、平成 29 年度に比べて約 2.0 倍と大きく増加している。

経営学科は入学定員を 80 名から 160 名に 80 名増員する。変更後の入学定員充足率 1.00 確保に必要な合格者数は 405 名、合格率 45.9%というシミュレーション結果となる（志願者数は 883 名、歩留は平成 29～令和 3 年度の平均と想定）。

この合格率は令和3年度の合格率60.9%よりも低く、入学者選抜上、適正な水準と考えられ、十分に学生を確保していくことが可能だと判断できる。

・人間社会学部 福祉心理学科

表8. 人間社会学部 福祉心理学科の志願動向

入学年度		平成29	平成30	令和元 (平成31)	令和2	令和3	シミュレーション
①	入学定員	50	50	25	25	25	45
②	志願者数	84	106	150	232	161	197
③	合格者数	68	69	74	73	117	115
④	入学者数	31	35	29	27	27	45
⑤	志願倍率 ②/①	1.68	2.12	6.00	9.28	6.44	4.37
⑥	合格率 ③/②	81.0%	65.1%	49.3%	31.5%	72.7%	58.6%
⑦	歩留 ④/③	45.6%	50.7%	39.2%	37.0%	23.1%	39.1%
⑧	定員充足率 ④/①	0.62	0.70	1.16	1.08	1.08	1.00

福祉心理学科の志願者数は、平成29年度の84人から増加が続き、令和2年度には232人に達した。新型コロナウイルスの影響を受けた令和3年度でも161人が志願しており、平成29年度に比べて約1.9倍と大きく増加している。

福祉心理学科は入学定員を25名から45名に20名増員する。変更後の入学定員充足率1.00確保に必要な合格者数は115名、合格率58.6%というシミュレーション結果となる（志願者数は197名、歩留は平成29～令和3年度の平均と想定）。

この合格率は令和3年度の合格率72.7%よりも低く、入学者選抜上、適正な水準と考えられ、十分に学生を確保していくことが可能だと判断できる。

#### 1.1.2.4. 他大学の心理学部の動向

福祉心理学科については、現行の教育課程にはない、公認心理師の受験資格取得に対応した新たなカリキュラムを導入する。そのため、過去の本学志願動向からだけでは、今後の学生確保見通しを十分に推し量ることはできない。公認心理師対応カリキュラムを導入している他大学の志願動向についても見ていく。

まずは日本私立大学振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向」を基に、全国の心理学部の志願者・入学者の動向を確認した（表 10）。

**表 10. 全国の心理学部の志願動向**

< 主な学部別の志願者・入学者動向（大学）「心理学部」 >

		平成27	平成28	平成29	平成30	令和元 (平成31)	令和2
集計学部数		14	14	14	18	18	21
入学定員	①	2,165	2,195	2,185	2,723	2,713	2,968
志願者数	②	14,924	15,051	17,324	23,026	28,076	29,548
志願倍率	②/①	6.9	6.9	7.9	8.5	10.3	10.0
入学者数	③	2,199	2,198	2,405	2,935	2,832	3,098
入学定員充足率	③/①	101.6%	100.1%	110.1%	107.8%	104.4%	104.4%

日本私立学校振興・共済事業団『私立大学・短期大学等入学志願動向』から作成

平成 27 年度に 2,165 人だった心理学部入学定員は、令和 2 年度には 2,968 人と、6 年間で入学定員は約 1.4 倍になっている。その間、志願者数についても同様に、平成 27 年度に 14,924 人だった志願者は、令和 2 年度には 29,548 人と 6 年間で約 2 倍に増加しており、令和 2 年度の志願倍率は 10.0 となっている。入学定員充足率についても堅調に推移している。

心理学部の募集定員は過去 6 年間で大きく増加しているが、定員の増加以上に志願者も大きく増加してきている。直近の志願倍率も高い水準を維持していることから、今後も引き続き、受験生からのニーズが大きい学問系統であることが予測でき、安定的に学生を確保していくことが可能だと考えられる。

次いで、本学の近隣に位置する主な心理学部学科の志願動向、収容定員充足率を調査した。公認心理師に対応したカリキュラムを擁している各大学の過去3年間における志願者数を見ると、多くの大学で志願倍率は堅調に推移している（表11）。

**表 11. 埼玉県、東京都の心理学部学科の志願動向**

大学	学部・学群	学科/専攻	入学定員			志願者数			志願倍率		
			平成30	令和元	令和2	平成30	令和元	令和2	平成30	令和元	令和2
文京学院	人間	心理	100	100	100	531	773	1,156	5.3	7.7	11.6
駿河台	心理	心理	140	140	140	589	954	1,103	4.2	6.8	7.9
聖学院	心理福祉	心理福祉	140	120	120	230	323	513	1.6	2.7	4.3
埼玉学園	人間	心理	100	100	100	n.a.	303	271	n.a.	3.0	2.7
埼玉工業	人間社会	心理/臨床心理	25	30	30	154	218	384	6.2	7.3	12.8
和光	現代人間	心理教育/心理学専修	60	60	60	n.a.	457	810	n.a.	7.6	13.5
東京成徳	応用心理	臨床心理	112	112	112	339	426	643	3.0	3.8	5.7
東洋学園	人間科学	人間科学	200	200	200	632	803	982	3.2	4.0	4.9
目白	心理	心理カウンセリング	120	120	125	814	1,248	1,598	6.8	10.4	12.8
杏林	保健	臨床心理	80	80	80	138	271	558	1.7	3.4	7.0
日本	文理	心理	130	130	130	2,172	1,581	1,993	16.7	12.2	15.3

旺文社「大学受験パスナビ」、各大学ホームページから作成

また、令和2年度の入学定員超過率については、いずれの大学も1倍を超えている。収容定員の充足率についても、多くの大学が1倍を超えている（表12）。

**表 12. 埼玉県、東京都の心理学部学科の収容定員充足率（令和2年度）**

大学	学部・学群	学科/専攻	入学定員	入学者数	入学定員 超過率	収容定員	在籍者数	収容定員 充足率
文京学院	人間	心理	100	112	1.12	400	432	1.08
駿河台	心理	心理	140	168	1.20	560	648	1.16
聖学院	心理福祉	心理福祉	120	135	1.13	380	397	1.04
埼玉学園	人間	心理	100	104	1.04	400	324	0.81
埼玉工業	人間社会	心理	50	60	1.20	200	216	1.08
和光	現代人間	心理教育/心理学専修	60	74	1.23	223	298	1.34
東京成徳	応用心理	臨床心理	112	126	1.13	406	441	1.09
東洋学園	人間科学	人間科学	200	220	1.10	840	845	1.01
目白	心理	心理カウンセリング	125	134	1.07	495	520	1.05
杏林	保健	臨床心理	80	86	1.08	240	219	0.91
日本	文理	心理	130	136	1.05	520	548	1.05

各大学ホームページから作成

本学の主要な学生募集地域である埼玉県、東京都において、公認心理師に対応したカリキュラムを擁する心理学部への志願動向、収容定員充足率は堅調であ

り、受験生からのニーズの高さがうかがえる。公認心理師という職業については、スクールカウンセラー任用の重要性の高まり等、社会的需要は今後も高いと言える。社会からのニーズに合わせ受験生の志願動向は堅調な状況が続くと想定されることから、安定的に学生を確保していくことが可能と考える。

## 1.2. 学生確保に向けた具体的な取組状況

学生確保に向けた募集活動については、本学の特徴や学科の特色が高校生及び保護者、進路指導担当教員等に伝わるような様々な機会を設けることとする。2020年度の本学の新生を対象に行った調査によると、東京国際大学を進学先として選択する際、影響を受けたものとして「オープンキャンパス」や「高校の先生との面談や話」等が上位に挙がっている。受験生が進学先を決める上で、これらの情報経路が重要なものであると考え、受験生と直接的に接する機会であるオープンキャンパスおよび高校教員への情報提供を特に力を入れて遂行する。新型コロナウイルスの影響により、今後も対面での接触がままならない状況が続く可能性はあるが、オンラインでのオープンキャンパスや入試相談等、WEB上でのコミュニケーションも活用し、十分な情報を受験生や保護者、進路指導担当教員に届けていく。

以下に本学が実施していく具体的な取組を述べる。

### ・オープンキャンパス

受験生向けに大学の学びを理解してもらう機会としてオープンキャンパスを開催している。本学の特色、人材育成の狙いの紹介、模擬授業、在学生のプレゼンテーション、キャンパス案内等を実施し、令和2年度については5回2,473名の来場者があった。また、WEB上で実施したオープンキャンパスについては、764名の参加があった。なお、新型コロナウイルスの影響がなかった令和元年度の活動については5回4,711名の来場者があった。

令和3年度については感染症のリスクに細心の注意を払いつつ、令和元年度なみの活動を予定している。

### ・高校等訪問

本学が重点対象とする高校に対し職員を派遣、進路指導部長及び部員に本学の教育システム、方針について説明を実施し、生徒が本学への興味、関心を持ってもらえるように周知を依頼している。令和2年度については延べ763校を訪問した。なお、新型コロナウイルスの影響がなかった令和元年度の活動については延べ830校を訪問した。

令和3年度については感染症のリスクに細心の注意を払いつつ、令和元年度

なみの活動を予定している。

- ・高校個別模擬授業

本学が重点対象とする高校に対しては、教員を派遣して出張講義を行い、高校生が具体的な学びのイメージを掴む手助けをしている。令和2年度は7校で実施した。なお、新型コロナウイルスの影響がなかった令和元年度の活動については32校で実施をしていた。

令和3年度については感染症のリスクに細心の注意を払いつつ、令和元年度なみの活動を予定している。

- ・高校教員対象大学説明会

高校の進路指導教員向けに「高校教員対象大学説明会」を開催し、教育内容や入試制度の前年からの変更点などを伝え、進路指導の参考にしてもらっている。令和2年度はオンラインで説明会を実施し、58校の参加があった。なお、新型コロナウイルスの影響がなかった令和元年度の活動については39校の参加であった。

オンラインで実施することにより、却って多くの高校に参加して頂く機会を得られたことから、令和3年度についても感染症の状況を見ながら、適切な手段で説明会を実施していく。

- ・進学相談会

学外で開催される各種進学ガイダンス・説明会へ積極的に参加している。本学への入学者が多くない首都圏以外のエリアのガイダンス・説明会にも参加している。令和2年度は15会場のガイダンス・説明会に参加した。なお、新型コロナウイルスの影響がなかった令和元年度の活動については35会場のガイダンス・説明会に参加した。

高校内で開催されるガイダンス・説明会についても学生募集の重点校については積極的に参加している。令和2年度はオンラインでの実施も含め、86校のガイダンス・説明会に参加した。なお、新型コロナウイルスの影響がなかった令和元年度の活動については121校のガイダンス・説明会に参加した。

令和3年度については感染症のリスクに細心の注意を払いつつ、令和元年度なみの活動を予定している。

## 2. 人材需要の動向等社会の要請

### 2.1. 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

各学科の人材養成・教育研究上の目的は以下のとおりである。

#### ・商学部 経営学科

商学部は、多様な国内・国際ビジネスの仕組みを理解し、ビジネス上の諸課題に実践的に対応できる能力を備えた人材を養成する。

特に経営学科では、経営に関する専門知識と実践力を持ち、それらを実社会で応用できる人材を養成する。現在の教育課程には、「経営」、「会計・ファイナンス」、「情報」の3つの専門分野を設けている。

#### ・人間社会学部 福祉心理学科

人間社会学部は、社会、文化、福祉、心理、スポーツのそれぞれの視点から人間と社会のかかわりを探究し、ひとの幸せのために、優しさと勇気を持って社会に貢献できる教養ある人材を養成する。

特に福祉心理学科では、現代社会の諸問題を福祉の視点、心理の視点から捉え、専門性と総合的技術を備えた人材を養成する。現在の教育課程には、「福祉」、「心理」の2つの専門分野を設けている。心理分野については公認心理師の受験資格に対応した学部カリキュラムを導入し、卒業後にカウンセラー等を目指すことを可能とする。

## 2.2. 人材需要の客観的根拠

### 2.2.1. 東京国際大学に対する社会からの評価

東京国際大学は、「公德心を体した真の国際人の養成」を建学の精神に掲げ、建学時からの教育目標である「Vision, Courage, Intelligence を身に付けた人材づくり」を具現化するために、「スポーツの東京国際大学」「英語力の東京国際大学」を柱とした教育事業展開を強力に推進している。

これらの取組が評価され、タイムズ・ハイヤー・エデュケーション「THE 世界大学ランキング 日本版」における「国際性」分野で、2021（令和3）年度全国第13位、首都圏第4位と高い評価を得ている。

また、日経 HR「価値ある大学 2020 年版 就職力ランキング」では、本学の卒業生に対するイメージとして、「対人力（コミュニケーション能力が高い、ストレス耐性が高い、柔軟性・適応力がある）」は第14位、「独創性（創造力がある、個性がある、着眼点が良い）」は第14位に位置している。

このように、本学における様々な取組や育成している人材については、社会から高い評価を得ている。取組の例を挙げると、本学ではキャリア教育の一環とし

て、日本人学生を対象に「大学生生活デザイン演習」を初年次の必修科目として設定している。初年次教育は多くの大学が導入しているものではあるが、本学の特徴はキャリア教育に主眼を置き、実施している点である。例えば、グループワークやプレゼンテーション等、実践的なアクティブラーニング形式の学びを通じて、集団の中での主体性やコミュニケーション能力等のいわゆる社会人基礎力を修得することが目的の一つである。また、本科目の中では、学生が社会人の方にインタビューする機会を設けており、自分自身のキャリアを考え、それに向けた4年間の大学生活をデザインする契機としている。

以上のように、本学では卒業生が社会に出た際、しっかりとその中で活躍し、自分自身のキャリアを築いていく力を持てるよう、人材の養成を行っている。人材養成に関する様々な取組が、前述した社会からの高い評価に繋がっていると考える。

### 2.2.2. 各学科の就職状況

本学の進路・就職状況については高い実績を挙げており、各学部の教育研究上の目的において示す「養成する人材像」が、それぞれの学問分野の専門性を基礎としつつも、共通して現代社会が求める能力を有する人材の養成に資するものであることを示している。以下に各学科の実績を示す。

#### ・商学部 経営学科

経営学科の就職率は、平成30年度卒 98.2%（就職者数 108 人／就職希望者数 110 人）、令和元年度卒 97.1%（就職者数 99 人／就職希望者数 102 人）、令和2年度卒 95.8%（就職者数 91 人／就職希望者数 95 人）と、高い水準で推移している（資料2）。

#### ・人間社会学部 福祉心理学科

福祉心理学科の就職率は、平成30年度卒 100%（就職者数 60 人／就職希望者数 60 人）、令和元年度卒 95.2%（就職者数 40 人／就職希望者数 42 人）、令和2年度卒 100%（就職者数 22 人／就職希望者数 22 人）と、高い水準で推移している（資料2）。

### 2.2.3. 公認心理師に対する社会的需要

公認心理師のように、教育機関や企業、病院等の様々な場所でカウンセリングを担える人材への社会的需要は高い状況が続くと考えられる。

文部科学省「令和元年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果」によると、いじめられた児童生徒がスクールカウンセラー等

に相談した件数が6年連続で増加、不登校児童生徒がスクールカウンセラー等に相談した件数が7年連続で増加するなど、学校において生徒の心理的ケアを担当する専門スタッフの重要性が増している。しかし、現在、公立の小・中・高等学校においてスクールカウンセラーが常駐している学校は1%に満たない（資料3）。

このような状況の中、文部科学省は「児童生徒の教育相談の充実について（報告）」の中で、「最終的には、全ての必要な学校、教育委員会及び教育支援センターに常勤のスクールカウンセラーを配置できることを目指すことが適切である」としている。公認心理師のように、教育現場で児童生徒の心理的サポートを担えるプロフェッショナルはより多くの活躍が期待されている。

また、日本においては年間2万人以上が自殺によって命を絶っている。近年の自殺者数は減少傾向にあったが、直近の状況では自殺者数は増加、特に10代、20代の若年層で増えている（資料4）。自殺のすべてが心の問題に起因するわけではないが、病院や企業、教育機関等で心理的ケアを行うことができる公認心理師は、今後の社会で引き続き必要とされる人材だと考える。

# 添付資料

(学生の確保の見通し等を記載した書類)

東京国際大学



## 目次

資料 1.	令和元年度 収容定員変更の概要.....	3
資料 2.	各学部学科の就職実績.....	4
資料 3.	スクールカウンセラーの活動日数の状況（公立）.....	5
資料 4.	自殺者の年次比較.....	6

資料1. 令和元年度 収容定員変更の概要

学部	学科	入学定員		
		平成30	令和元(平成31)	増減
商学部	商学科	120人	100人	-20人
	経営学科	100人	80人	-20人
経済学部	経済学科	355人	435人	+80人
言語コミュニケーション学部	英語コミュニケーション学科	250人	230人	-20人
国際関係学部	国際関係学科	220人	245人	+25人
	国際メディア学科	80人	60人	-20人
人間社会学部	福祉心理学科	50人	25人	-25人
	人間スポーツ学科	230人	230人	0人
	スポーツ科学科	200人	200人	0人
総合計		1,605人	1,605人	0人

資料2. 各学部学科の就職実績

	平成30年度卒			令和元(平成31)年度卒			令和2年度卒		
	就職 希望者数	就職者数	就職率	就職 希望者数	就職者数	就職率	就職 希望者数	就職者数	就職率
商学部 経営学科	110	108	98.2	102	99	97.1	95	91	95.8
人間社会学部 福祉心理学科	60	60	100.0	42	40	95.2	22	22	100.0

資料3. スクールカウンセラーの活動日数の状況（公立）

区分	小学校		中学校		高等学校		計	
	学校数 (校)	構成比 (%)	学校数 (校)	構成比 (%)	学校数 (校)	構成比 (%)	学校数 (校)	構成比 (%)
①常駐	2	0.0	143	1.5	5	0.1	150	0.5
②年間140日以上(常駐を除く)	72	0.4	102	1.1	25	0.6	199	0.6
③年間139日～105日	174	0.9	118	1.3	21	0.5	313	1.0
④年間104日～70日	473	2.5	432	4.6	95	2.3	1,000	3.0
⑤年間69日～35日	3,062	15.9	4,329	46.0	818	19.9	8,209	25.0
⑥年間34日～1日	13,639	70.8	4,061	43.1	2,667	65.0	20,367	62.1
⑦年間0日(配置実績なし)	1,854	9.6	229	2.4	471	11.5	2,554	7.8

(注1) スクールカウンセラーの雇用形態や配置計画に拠らず、活動日数の実績で計上したもの。

(注2) 常駐とは、スクールカウンセラーが単独の者か複数の者かに拠らず、基本的に毎日、一人以上のスクールカウンセラーが当該学校の相談業務等に  
従事しているもの。

(注3) 高等学校の全定併置校や通信制併設校等においては、全日制、定時制、通信制それぞれ1校として別々に計上。

(注4) 構成比は、各区分における学校数に対する割合。

文部科学省「令和元年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」

資料4. 自殺者の年次比較

表2 年齢階級別自殺者数

(単位：人)

	総数	少年		成人						不詳	
		～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳		80歳～
令和2年 (構成比)	21,081 (100.0%)	0 (0%)	777 (3.7%)	2,521 (12%)	2,610 (12.4%)	3,568 (16.9%)	3,425 (16.2%)	2,795 (13.3%)	3,026 (14.4%)	2,305 (10.9%)	54 (0.3%)
令和元年 (構成比)	20,169 (100.0%)	0 (0%)	659 (3.3%)	2,117 (10.5%)	2,526 (12.5%)	3,426 (17%)	3,435 (17%)	2,902 (14.4%)	2,917 (14.5%)	2,134 (10.6%)	53 (0.3%)
増減数 (構成比)	+912 -	0 (0.0)	+118 (0.4)	+404 (1.5)	+84 (-0.1)	+142 (-0.1)	-10 (-0.8)	-107 (-1.1)	+109 (-0.2)	+171 (0.3)	+1 (0.0)
増減率(%)	4.5	-	17.9	19.1	3.3	4.1	-0.3	-3.7	3.7	8.0	1.9

厚生労働省「令和2年中における自殺の状況」

## 教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
—	学長	シオザワ シュウヘイ 塩澤 修平 <平成31年4月>		Ph. D. (米国)		東京国際大学学長 (平成31.4～令和4.3)

(注) 高等専門学校にあっては校長について記入すること。